

# 計量管理規定

## 新旧対照表

令和5年8月

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

核燃料サイクル工学研究所

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧	新	備考
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 計量管理規定	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 計量管理規定	
改正 平成 元年 2月15日 平成 元年 4月 1日 平成 元年 6月 1日 平成 3年 1月 7日 平成 3年 11月29日 平成 4年 12月28日 平成 5年 9月 3日 平成 6年 1月 1日 平成 6年 9月 6日 平成 6年 9月26日 平成 7年 1月18日 平成 7年 2月 9日 平成 7年 3月10日 平成 7年 3月29日 平成 7年 6月 6日 平成 7年 11月 2日 平成 8年 4月 3日 平成 8年 7月22日 平成 8年 10月29日 平成 9年 2月28日 平成 9年 11月28日 平成10年 10月 1日 平成11年 9月10日 平成13年 4月 1日 平成14年 7月19日 平成15年 7月 7日 平成15年 10月 9日 平成17年 10月 1日 平成19年 3月 2日 平成20年 10月 1日 平成22年 3月23日 平成23年 5月 1日 平成24年 5月15日 平成24年 10月 1日 平成26年 4月 1日 平成27年 4月 1日 平成28年 4月 1日 平成29年 12月12日 平成30年 3月29日 平成30年 6月26日 平成31年 3月 7日 令和 3年 3月 2日 令和 4年 1月 1日 令和 4年 5月23日 令和 5年 3月10日	改正 平成 元年 2月15日 平成 元年 4月 1日 平成 元年 6月 1日 平成 3年 1月 7日 平成 3年 11月29日 平成 4年 12月28日 平成 5年 9月 3日 平成 6年 1月 1日 平成 6年 9月 6日 平成 6年 9月26日 平成 7年 1月18日 平成 7年 2月 9日 平成 7年 3月10日 平成 7年 3月29日 平成 7年 6月 6日 平成 7年 11月 2日 平成 8年 4月 3日 平成 8年 7月22日 平成 8年 10月29日 平成 9年 2月28日 平成 9年 11月28日 平成10年 10月 1日 平成11年 9月10日 平成13年 4月 1日 平成14年 7月19日 平成15年 7月 7日 平成15年 10月 9日 平成17年 10月 1日 平成19年 3月 2日 平成20年 10月 1日 平成22年 3月23日 平成23年 5月 1日 平成24年 5月15日 平成24年 10月 1日 平成26年 4月 1日 平成27年 4月 1日 平成28年 4月 1日 平成29年 12月12日 平成30年 3月29日 平成30年 6月26日 平成31年 3月 7日 令和 3年 3月 2日 令和 4年 1月 1日 令和 4年 5月23日 令和 5年 3月10日 令和 年 月 日	
		・改正期日の追加に伴う変更

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧	新	備考																								
第1編 総則	第1編 総則																									
第1章第1条～第2章第2条2項(1) (省略)	第1章第1条～第2章第2条2項(1) (変更なし)																									
(2) 使用施設	(2) 使用施設																									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">国際規制物資を使用する施設</th> <th style="width: 50%;">使用施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① プルトニウム燃料施設 ( )</td> <td>a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設</td> </tr> <tr> <td>② プルトニウム燃料製造施設 ( )</td> <td>プルトニウム燃料第三開発室</td> </tr> <tr> <td>③ 研究開発施設 ( ) &lt;ウラン系廃棄物関連施設&gt;</td> <td>a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)</td> </tr> <tr> <td>&lt;その他使用施設&gt;</td> <td>f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場</td> </tr> <tr> <td>④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )</td> <td>高レベル放射性物質研究施設</td> </tr> </tbody> </table>	国際規制物資を使用する施設	使用施設	① プルトニウム燃料施設 ( )	a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設	② プルトニウム燃料製造施設 ( )	プルトニウム燃料第三開発室	③ 研究開発施設 ( ) <ウラン系廃棄物関連施設>	a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)	<その他使用施設>	f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場	④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )	高レベル放射性物質研究施設	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">国際規制物資を使用する施設</th> <th style="width: 50%;">使用施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① プルトニウム燃料施設 ( )</td> <td>a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設 d. 第三ウラン貯蔵庫</td> </tr> <tr> <td>② プルトニウム燃料製造施設 ( )</td> <td>プルトニウム燃料第三開発室</td> </tr> <tr> <td>③ 研究開発施設 ( ) &lt;ウラン系廃棄物関連施設&gt;</td> <td>a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)</td> </tr> <tr> <td>&lt;その他使用施設&gt;</td> <td>f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場</td> </tr> <tr> <td>④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )</td> <td>高レベル放射性物質研究施設</td> </tr> </tbody> </table>	国際規制物資を使用する施設	使用施設	① プルトニウム燃料施設 ( )	a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設 d. 第三ウラン貯蔵庫	② プルトニウム燃料製造施設 ( )	プルトニウム燃料第三開発室	③ 研究開発施設 ( ) <ウラン系廃棄物関連施設>	a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)	<その他使用施設>	f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場	④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )	高レベル放射性物質研究施設	<p>・第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更</p>
国際規制物資を使用する施設	使用施設																									
① プルトニウム燃料施設 ( )	a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設																									
② プルトニウム燃料製造施設 ( )	プルトニウム燃料第三開発室																									
③ 研究開発施設 ( ) <ウラン系廃棄物関連施設>	a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)																									
<その他使用施設>	f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場																									
④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )	高レベル放射性物質研究施設																									
国際規制物資を使用する施設	使用施設																									
① プルトニウム燃料施設 ( )	a. プルトニウム燃料第一開発室 b. プルトニウム燃料第二開発室 c. プルトニウム廃棄物処理開発施設 d. 第三ウラン貯蔵庫																									
② プルトニウム燃料製造施設 ( )	プルトニウム燃料第三開発室																									
③ 研究開発施設 ( ) <ウラン系廃棄物関連施設>	a. 第2ウラン貯蔵庫 b. J棟 c. L棟 d. M棟 e. ウラン廃棄物処理施設(廃油保管庫、ウラン系廃棄物貯蔵施設、第2ウラン系廃棄物貯蔵施設、廃水処理室及び焼却施設内の国際規制物資を使用する使用施設をいう。)																									
<その他使用施設>	f. A棟 g. B棟 h. 安全管理棟 i. 放射線保健室 j. 計測機器校正室 k. 応用試験棟 l. 洗濯場																									
④ 高レベル放射性物質研究施設 ( )	高レベル放射性物質研究施設																									
3 再処理施設における国際規制物資の計量管理については、この規定のうち「第1編総則」及び「第2編再処理施設における国際規制物資の計量管理」に定めるところによる。	3 再処理施設における国際規制物資の計量管理については、この規定のうち「第1編総則」及び「第2編再処理施設における国際規制物資の計量管理」に定めるところによる。																									
4 使用施設における国際規制物資の計量管理については、この規定のうち「第1編総則」、「第3編プルトニウム燃料技術開発センターにおける国際規制物資の計量管理」及び「第4編研究開発施設及び高レベル放射性物質研究施設における国際規制物資の計量管理」に定めるところによる。	4 使用施設における国際規制物資の計量管理については、この規定のうち「第1編総則」、「第3編プルトニウム燃料技術開発センターにおける国際規制物資の計量管理」及び「第4編研究開発施設及び高レベル放射性物質研究施設における国際規制物資の計量管理」に定めるところによる。																									
第3章第3条～第4章第4条 (省略)	第3章第3条3項～第4章第4条 (変更なし)																									

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考	
第2編 再処理施設における国際規制物資の計量管理						第2編 再処理施設における国際規制物資の計量管理							
第1章第1条～第12章第65条 (省略)						第1章第1条～第12章第65条 (変更なし)							
(関連図表) 第II-1図～第II-2-(1)表 (省略)						(関連図表) 第II-1図～第II-2-(1)表 (変更なし)							
第II-2-(2)表 転換施設における核燃料物質をバッチに区分する方法、 ソースデータ及び供給当事国別記録の区分						第II-2-(2)表 転換施設における核燃料物質をバッチに区分する方法、 ソースデータ及び供給当事国別記録の区分							
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム		
	1	再処理工場 からの硝酸 プルトニウ ム溶液の受 入れ	受入計量槽 (P11V11)へ の硝酸プルト ニウム溶液の 各受入れ	1バッチ	(省略)	バッチ		1	再処理工場 からの硝酸 プルトニウ ム溶液の受 入れ	受入計量槽 (P11V11)へ の硝酸プルト ニウム溶液の 各受入れ	1バッチ	(変更なし)	バッチ
	2	再処理工場 からの硝酸 ウラニル溶 液の受入れ	受入計量槽 (P11V13)へ の硝酸ウラニ ル溶液の各受 入れ	1バッチ	(省略)			2	再処理工場 からの硝酸 ウラニル溶 液の受入れ	受入計量槽 (P11V13)へ の硝酸ウラニ ル溶液の各受 入れ	1バッチ	(変更なし)	
	3	他施設から の受入れ	硝酸ウラニル 溶液の各受入 れ 容器一式	1容器	(省略)			3	他施設から の受入れ	硝酸ウラニル 溶液の各受入 れ 容器一式	1容器	(変更なし)	

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考			
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動 の タイプ	代表的形態			ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	
			バッチ	アイテム							バッチ	アイテム			
□	3	他施設との受払い	少量及びその他の核燃料物質の各受払い	1容器	(省略)	バッチ	□	3	他施設との受払い	少量及びその他の核燃料物質の各受払い	1容器	(変更なし)	バッチ		
	4	再処理工場への払出し	廃液の各払出し	1バッチ	(省略)			4	再処理工場への払出し	廃液の各払出し	1バッチ	(変更なし)			
	5	保管廃棄への移転及び再移転	スラッジの保管廃棄物 1容器	1バッチ	(省略)			5	保管廃棄への移転及び再移転	スラッジの保管廃棄物 1容器	1バッチ	(変更なし)			
			固体廃棄物 1容器	1バッチ	(省略)			固体廃棄物 1容器		1バッチ	(変更なし)				
□	6	MBA間移動 (□ ↔ □)	プルトニウム・ウラン混合酸化物粉末 1缶  (通常、混合酸化物粉末の1ロットは最大16缶に充填される。貯蔵容器1基には4缶入る)	1バッチ	(省略)	総量	□	6	MBA間移動 (□ ↔ □)	プルトニウム・ウラン混合酸化物粉末 1缶  (通常、混合酸化物粉末の1ロットは最大16缶に充填される。貯蔵容器1基には4缶入る)	1バッチ	(変更なし)	総量		
			スクラップ 1缶	1バッチ	(省略)					スクラップ 1缶	1バッチ	(変更なし)			
	8	核的損耗	□の在庫  1か月間の核的損耗  PITを実施した月は、その前後に区分	—	(省略)	バッチ		8	核的損耗	□の在庫  1か月間の核的損耗  PITを実施した月は、その前後に区分	—	(変更なし)	バッチ		
	*	区分変更	区分変更されたバッチ	1バッチ	(省略)			*	区分変更	区分変更されたバッチ	1バッチ	(変更なし)			
□	6	□のKMP 6に同じ				総量	□	6	□のKMP 6に同じ				総量		
□	7	他施設への払出し	□のKMP 6に同じ				バッチ	□	7	他施設への払出し	□のKMP 6に同じ				バッチ

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	A	転換工程内 在庫	硝酸ウラニル 溶液又は硝酸 プルトニウム 溶液 1槽	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (槽の識別番号) (2) 物理的・化学的形態 (3) 溶液の液位、容量、密度及び液温 (P01V41とP01V42の室温) (4) ウランとプルトニウムの濃度 (5) ウランとプルトニウムの同位体組 成 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び分析日 (6) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 校正日 (8) 測定精度	総量		A	転換工程内 在庫	硝酸ウラニル 溶液又は硝酸 プルトニウム 溶液 1槽	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (槽の識別番号) (2) 物理的・化学的形態 (3) 溶液の液位、容量、密度及び液温 (P01V41とP01V42の室温) (4) ウランとプルトニウムの濃度 (5) ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含 む) の同位体組成及び分析日 (6) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 校正日 (8) 測定精度	総量	・記載の適正化
		廃液 1槽	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (槽の識別番号) (2) 溶液の容量 (3) ウランとプルトニウムの濃度 (4) 推定によるウランとプルトニウム の同位体組成 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び 推定日 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) 校正日 (7) 測定精度				廃液 1槽	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (槽の識別番号) (2) 溶液の容量 (3) ウランとプルトニウムの濃度 (4) 推定によるウランとプルトニウム の同位体組成 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び 推定日 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) 校正日 (7) 測定精度				
		プルトニウム・ウラン混 合酸化物粉末 中間貯蔵容器 1本	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (容器の識別番号) (2) 物理的・化学的形態 (3) 容器の空重量、総重量、正味重量 (4) ウランとプルトニウムの含有率 (5) ウランとプルトニウムの同位体組 成 ( <sup>241</sup> Amを含む) (6) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 測定精度				プルトニウム・ウラン混 合酸化物粉末 中間貯蔵容器 1本	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (容器の識別番号) (2) 物理的・化学的形態 (3) 容器の空重量、総重量、正味重量 (4) ウランとプルトニウムの含有率 (5) ウランとプルトニウムの同位体組 成 ( <sup>241</sup> Amを含む) (6) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 測定精度				
		グローブボッ クス中のスラ ッジ 1容器	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (容器の識別番号) (2) 容器の空重量、総重量、正味重量 (3) ウランとプルトニウムの含有率 (4) 推定によるウランとプルトニウム の同位体組成 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び 推定日 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) 測定精度				グローブボッ クス中のスラ ッジ 1容器	1バッチ	バッチに対して、 (1) バッチ符号 (容器の識別番号) (2) 容器の空重量、総重量、正味重量 (3) ウランとプルトニウムの含有率 (4) 推定によるウランとプルトニウム の同位体組成 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び 推定日 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、 特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) 測定精度				

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫 の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫 の タイプ	代表的形態			ソースデータ
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム		
□	A	転換工程内 在庫	固体廃棄物 1容器	1バッチ	(省略)	総量	□	A	転換工程内 在庫	固体廃棄物 1容器	1バッチ	(変更なし)	総量
			ホールドアッ プ	1バッチ	(省略)					ホールドアッ プ	1バッチ	(変更なし)	
			グローブボッ クス1基							グローブボッ クス1基			
□	B	分析室内在 庫 及び 基礎実験室 内在庫	同一仕様の核 燃料物質	1容器	(省略)	□	B	分析室内在 庫 及び 基礎実験室 内在庫	同一仕様の核 燃料物質	1容器	(変更なし)	□	
			プルトニウム ・ウラン混 合酸化物粉末 1缶	□のKMP 6に同じ					プルトニウム ・ウラン混 合酸化物粉末 1缶	□のKMP 6に同じ			
□	C	粉末貯蔵室 在庫	スクラップ 1缶	□のKMP 6に同じ		□	C	粉末貯蔵室 在庫	スクラップ 1缶	□のKMP 6に同じ		□	

第II-3-(1)表~第II-3-(4)表 (省略)

第II-3-(1)表~第II-3-(4)表 (変更なし)

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考			
第Ⅱ-4-(1)表 再処理工場の各主要測定点における測定						第Ⅱ-4-(1)表 再処理工場の各主要測定点における測定									
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容					
				目的	方法・機器					目的	方法・機器				
□	1	セラミック 二酸化物	各燃料集合体	員数確認	計_数	□	1	セラミック 二酸化物	各燃料集合体	員数確認	計数	・記載の適正化			
	2	液_体 硝酸塩	入量計量槽から の各移動	含有量確定	化学分析及び容量測定等 分析装置及びマノメータ等		2	液体 硝酸塩	入量計量槽から の各移動	含有量確定	化学分析及び容量測定 分析装置及びマノメータ	・記載の適正化			
		セラミック 二酸化物	各燃料集合体	核的損耗量 確定	<sup>241</sup> Puの損耗量を計算により確定								核的損耗量 確定	<sup>241</sup> Puの損耗量を計算により確定	
	3	ハル等高放射性固 体廃棄物	各容器	含有量確定	非破壊測定及び重量測定等 中性子測定装置及び秤量器等		3	ハル等高放射性固 体廃棄物	各容器	含有量確定	非破壊測定及び重量測定 中性子測定装置及び秤量器	・記載の適正化			
	4	液_体 セラミック	各容器	含有量確定 及び重量確 定	化学分析、容量測定及びせん断数等よ り算出等		分析装置、レベル計及びせん断数積算 計等	4	液体 セラミック	各容器	含有量確定 及び重量確 定	化学分析、容量測定及びせん断数より 算出	分析装置、レベル計及びせん断数積算 計	・記載の適正化	
硝酸塩 二酸化物		液_体 硝酸塩			各移動	含有量確定						化学分析、アルファ線計測及び容量測 定等			分析装置、放射線計測装置レベル計及 びマノメータ等
□	2	□のKMP 2に同じ				□	2	□のKMP 2に同じ				・記載の適正化			
	4	□のKMP 4に同じ					4	□のKMP 4に同じ							
	5	極低放射性液体廃 棄物	各廃棄	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容量測定 及び間接的に推定等		分析装置、放射線計測装置及び流量積 算計等	5	極低放射性液体廃 棄物	各廃棄	含有量確定		化学分析、アルファ線計測、容量測定 及び間接的に推定	分析装置、放射線計測装置及び流量積 算計	・記載の適正化
		放射性液体廃棄物	各移転	同_上	同_上		同_上						同_上	・記載の適正化	
		ガラス固化体	各ガラス固化体	同_上	同_上		同_上						同_上	・記載の適正化	
	放射性固体廃棄物	各容器	同_上	化学分析、アルファ線計測、容量測定、 非破壊測定及び間接的に推定等	分析装置、放射線計測装置、中性子測 定装置及び流量積算計等		放射性固体廃棄物	各容器	同_上	化学分析、アルファ線計測、容量測定、 非破壊測定及び間接的に推定	分析装置、放射線計測装置、中性子測 定装置及び流量積算計	・記載の適正化			



核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器	MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器		
□	6	液_体 固体、その他  単_体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各受払い 各容器	員数確認及 び含有量確 定  計数、化学分析、アルファ線計測及び 容量測定等  分析装置、放射線計測装置、レベル計 及びマンメータ等	□	6	液体 固体、その他  単体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各受払い 各容器	員数確認及 び含有量確 定  計数、化学分析、アルファ線計測及び 容量測定  分析装置、放射線計測装置、レベル計 及びマンメータ	・記載の適正化	
	7	粉_末  三酸化物	各容器	員数確認及 び含有量確 定  計数、化学分析及び重量測定等  分析装置及び秤量器等		7	粉末  三酸化物	各容器	員数確認及 び含有量確 定  計数、化学分析及び重量測定  分析装置及び秤量器		・記載の適正化
		液_体 硝酸塩	プルトニウム製 品等のプルトニ ウム製品貯槽へ の各移動	含有量確定  化学分析及び容量測定等  分析装置及びマンメータ等			液体 硝酸塩	プルトニウム製 品等のプルトニ ウム製品貯槽へ の各移動	含有量確定  化学分析及び容量測定  分析装置及びマンメータ		
	9	液_体 硝酸塩	各移動	含有量確定  化学分析、アルファ線計測及び容量測 定等  分析装置及び放射線計測装置等		9	液体 硝酸塩	各移動	含有量確定  化学分析、アルファ線計測及び容量測 定  分析装置及び放射線計測装置		・記載の適正化
		粉_末 三酸化物	各容器	員数及び封 印の確認  計数及び目視			粉末 三酸化物	各容器	員数及び封 印の確認  計数及び目視		
7	□のKMP7に同じ				7	□のKMP7に同じ				・記載の適正化	
8	粉_末  三酸化物	各容器	員数確認及 び重量確定  計数及び重量測定等  秤量器等	8	粉末  三酸化物	各容器	員数確認及 び重量確定  計数及び重量測定  秤量器	・記載の適正化			
9	□のKMP9に同じ				9	□のKMP9に同じ					
*	液_体 硝酸塩	各_槽	核的損耗量 確定  $^{241}\text{Pu}$ の損耗量を計算により確定	*	液体 硝酸塩	各槽	核的損耗量 確定  $^{241}\text{Pu}$ の損耗量を計算により確定	・記載の適正化			

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器	MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器		
□	A	セラミック	各燃料集合体	員数確認 計_数	□	A	セラミック	各燃料集合体	員数確認 計数	・記載の適正化	
		二酸化物	各容器	含有量確定 及び重量確定			液体 セラミック	含有量確定 及び重量確定	化学分析、容量測定及びせん断数より算出		・記載の適正化
		硝酸塩 二酸化物					分析装置、レベル計及びせん断数積算計等	硝酸塩 二酸化物	分析装置、レベル計及びせん断数積算計		
□	B	液_体 固_体	各_槽 各容器	含有量確定 化学分析、アルファ線計測、容量測定 及び非破壊測定等	□	B	液体 固体	各槽 各容器	含有量確定 化学分析、アルファ線計測、容量測定 及び非破壊測定	・記載の適正化	
		硝酸塩 他の化合物	各容器	員数確認			分析装置、放射線計測装置、モノメータ、レベル計及び中性子測定装置等	硝酸塩 他の化合物	分析装置、放射線計測装置、モノメータ、レベル計及び中性子測定装置		・記載の適正化
		固体、その他 密封線源					三酸化物 二酸化物	固体、その他 密封線源	三酸化物 二酸化物		
□	C	固体、その他 粉_末 液_体	各_槽 各容器	員数確認及び含有量確定 計数、化学分析、容量測定、重量測定 及び非破壊測定等	□	C	固体、その他 粉末 液体	各槽 各容器	員数確認及び含有量確定 計数、化学分析、容量測定、重量測定 及び非破壊測定	・記載の適正化	
		単_体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	分析装置、レベル計、メスシリンダー、 秤量器及び中性子測定装置等	単体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物			分析装置、レベル計、メスシリンダー、 秤量器及び中性子測定装置				
		固_体 液_体		各_槽 各容器			員数確認及び含有量確定 計数、化学分析、容量測定及び重量測定等	固体 液体	各槽 各容器		員数確認及び含有量確定 計数、化学分析、容量測定及び重量測定
□	D	硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	分析装置、レベル計、メスシリンダー 及び秤量器等	硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	分析装置、レベル計、メスシリンダー 及び秤量器等						
		液_体		各_槽		含有量確定 化学分析及び容量測定等	液体	各槽	含有量確定 化学分析及び容量測定	・記載の適正化	
□	E	硝酸塩	分析装置、モノメータ及びレベル計等	□	E	硝酸塩	分析装置、モノメータ及びレベル計				

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容			
				目的	方法・機器					目的	方法・機器		
□	H	高放射性廃液	各_槽	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容器測定及び間接的に推定等  分析装置、放射線計測装置及びマンノメータ等	□	H	高放射性廃液	各槽	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容器測定及び間接的に推定  分析装置、放射線計測装置及びマンノメータ	・記載の適正化	
		固体、その他 液_体  単_体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	員数確認及び含有量確定	計数、化学分析、容量測定及び重量測定等  分析装置、レベル計、メスシリンダー及び秤量器等			固体、その他 液体  単体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	員数確認及び含有量確定	計数、化学分析、容量測定及び重量測定  分析装置、レベル計、メスシリンダー及び秤量器		・記載の適正化
		ガラス固化体	各ガラス固化体	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容量測定及び間接的に推定等  分析装置、放射線計測装置及び流量積算計等			ガラス固化体	各ガラス固化体	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容量測定及び間接的に推定  分析装置、放射線計測装置及び流量積算計		
□	F	粉_末 セラミック  二酸化物 三酸化物	各容器	員数及び封印の確認	計数及び目視	□	F	粉末 セラミック  二酸化物 三酸化物	各容器	員数及び封印の確認	計数及び目視	・記載の適正化	
		G	液_体  硝酸塩	各_槽	含有量確定			化学分析、アルファ線計測及び容量測定等  分析装置、放射線計測装置及びレベル計等	G	液体  硝酸塩	各槽	含有量確定	化学分析、アルファ線計測及び容量測定  分析装置、放射線計測装置及びレベル計

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考
第II-4-(2)表 転換施設の各主要測定点における測定						第II-4-(2)表 転換施設の各主要測定点における測定						
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		
				目的	方法・機器					目的	方法・機器	
[ ]	1	液_体 硝酸塩	受入計量槽 (P11V11) への硝酸プルトニウ ム溶液の各受入れ	含有量確定	化学分析及び容量測定等 分析装置及びマノメータ等	[ ]	1	液体 硝酸塩	受入計量槽 (P11V11) への硝酸プルトニウ ム溶液の各受入れ	含有量確定	化学分析及び容量測定 分析装置及びマノメータ	・記載の適正化
	2	液_体 硝酸塩	受入計量槽 (P11V13) への硝酸ウラニル溶 液の各受入れ	含有量確定	同_上		2	液体 硝酸塩	受入計量槽 (P11V13) への硝酸ウラニル溶 液の各受入れ	含有量確定	同上	・記載の適正化
	3	液_体 硝酸塩	各受入れ	員数確認	計_数		3	液体 硝酸塩	各受入れ	員数確認	計数	・記載の適正化
		液体、固体、 その他 単_体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各受払い	重量確定	重量測定及び封印の確認等 秤量器等			液体、固体、 その他 単体 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各受払い	重量確定	重量測定及び封印の確認 秤量器	・記載の適正化
	4	低放射性廃液	各払出し	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容量 測定及び間接的に推定等 分析装置、放射線計測装置及びレ ベル計等		4	低放射性廃液	各払出し	含有量確定	化学分析、アルファ線計測、容量 測定及び間接的に推定 分析装置、放射線計測装置及びレ ベル計	・記載の適正化
	5	固体、その他 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	重量確定及 び含有量確 定	化学分析、アルファ線計測、重量 測定及び間接的に推定等 分析装置、放射線計測装置及び秤 量器等		5	固体、その他 硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	重量確定及 び含有量確 定	化学分析、アルファ線計測、中性 子マルチプリシティ計算法/ガン マ線計測、重量測定及び間接的に 推定 分析装置、放射線計測装置、中性 子測定装置/高分解能ガンマ線計 測装置及び秤量器	・スラッジの非破壊測定開始 に伴う測定方法及び機器を追 加 ・記載の適正化
			各容器	員数確認 番号確認 含有量確定	計_数 目_視 中性子同時計数装置、測定器				各容器	員数確認 番号確認 含有量確定	計数 目視 中性子同時計数法 中性子測定装置	・記載の適正化
	6	粉_末 二酸化物 他の酸化物 ( [ ] → [ ] )	各缶	重量確定及 び含有量確 定	化学分析及び重量測定等 分析装置及び秤量器等		6	粉末 二酸化物 他の酸化物 ( [ ] → [ ] )	各缶	重量確定及 び含有量確 定	化学分析及び重量測定 分析装置及び秤量器	・記載の適正化
同_上 ( [ ] → [ ] )			同_上	員数確認	計_数	同上 ( [ ] → [ ] )			同上	員数確認	計数	・記載の適正化
8	[ ] の KMP A及びBに同 じ	[ ] の在庫	核的損耗量 確定	計算	8	[ ] の KMP A及びBに同 じ	[ ] の在庫	核的損耗量 確定	計算			
[ ]	6	[ ] の KMP 6 に同じ			[ ]	6	[ ] の KMP 6 に同じ					
[ ]	7	[ ] の KMP 6 に同じ			[ ]	7	[ ] の KMP 6 に同じ					

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器	MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的 方法・機器	
□	A	液_体 硝酸塩	各_槽	含有量確定 化学分析、アルファ線計測、容量測定及び間接的に推定等 分析装置、放射線計測装置、モノメータ及びレベル計等	□	A	液体 硝酸塩	各槽	含有量確定 化学分析、アルファ線計測、容量測定及び間接的に推定 分析装置、放射線計測装置、モノメータ及びレベル計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の適正化</li> <li>・スラッジの非破壊測定開始に伴う測定方法及び機器を追加</li> <li>・記載の適正化</li> </ul>
		固_体 粉_末 二酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	重量確定及び含有量確定 化学分析、アルファ線計測、重量測定等 分析装置、放射線計測装置、秤量器等			固体 粉末 二酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	重量確定及び含有量確定 化学分析、アルファ線計測、中性子マルチプリシティ計数法/ガンマ線計測及び重量測定 分析装置、放射線計測装置、中性子測定装置/高分解能ガンマ線計測装置及び秤量器	
		固_体 粉_末	各グローブボックス	含有量確定 非破壊測定、測定器			固体 粉末	各グローブボックス	含有量確定 中性子同時計数法 中性子測定装置	
		固_体 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	員数確認 番号確認 含有量確定 計_数 目_視 中性子同時計数装置、測定器			固体 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	各容器	員数確認 番号確認 含有量確定 計数 目視 中性子同時計数法 中性子測定装置	
□	B	固体、その他 粉_末 液_体 単体、硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	同一仕様の核燃料物質	重量確定及び含有量確定 化学分析、容量測定及び重量測定等 分析装置、メスシリンダー及び秤量器等	□	B	固体、その他 粉_末 液_体 単体、硝酸塩 二酸化物 三酸化物 他の酸化物 他の化合物	同一仕様の核燃料物質	重量確定及び含有量確定 化学分析、容量測定及び重量測定 分析装置、メスシリンダー及び秤量器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の適正化</li> </ul>
		粉_末 二酸化物 他の酸化物	各缶	員数確認 計_数			粉末 二酸化物 他の酸化物	各缶	員数確認 計数	

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
第Ⅱ-5-(1)表 再処理工場における測定機器の校正の頻度及び方法					第Ⅱ-5-(1)表 再処理工場における測定機器の校正の頻度及び方法					
MBA の 符号	KMP の 符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	MBA の 符号	KMP の 符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	
	2	調_整_槽	毎年1回	水注入法による校正		2	調整槽	毎年1回	水注入法による校正	・記載の適正化
	5	秤_量_器	毎年1回	零点調整及び標準分銅による校正		5	秤量器	毎年1回	零点調整及び標準分銅による校正	・記載の適正化
	5	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認		5	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認	
	7	秤_量_器	毎月1回	零点調整及び標準分銅による校正		7	秤量器	毎月1回	零点調整及び標準分銅による校正	・記載の適正化
	7	プルトニウム濃縮液受槽	毎年1回	硝酸注入法による校正		7	プルトニウム濃縮液受槽	毎年1回	硝酸注入法による校正	
	9	プルトニウム溶液受槽	毎年1回	硝酸注入法による校正		9	プルトニウム溶液受槽	毎年1回	硝酸注入法による校正	
	B	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認		B	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認	
	C	振動型密度計	毎月1回	標準試料による校正		C	振動型密度計	毎月1回	標準試料による校正	
	C	天_秤	秤量の都度	零点調整及び標準分銅による校正		C	天秤	秤量の都度	零点調整及び標準分銅による校正	・記載の適正化
	C	質量分析装置	毎月1回	一次標準試料による校正		C	質量分析装置	毎月1回	一次標準試料による校正	
	C	クーロメトリー装置	毎月1回	一次標準試料による校正		C	クーロメトリー装置	毎月1回	一次標準試料による校正	
	C	放射線測定装置	毎月1回	標準線源による校正		C	放射線測定装置	毎月1回	標準線源による校正	
	C	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正		C	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正	
	C	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認		C	中性子測定装置	測定の都度	標準試料による確認	
	H	放射線測定装置	毎月1回	標準線源による校正		H	放射線測定装置	毎月1回	標準線源による校正	
	H	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正		H	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正	
(注)「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所及びJCSS等の検定書付きのものとする。					(注)「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所、JCSS等の検定書付きのものとする。					・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
第Ⅱ-5-(2)表 転換施設における測定機器の校正の頻度及び方法					第Ⅱ-5-(2)表 転換施設における測定機器の校正の頻度及び方法					
MBA の 符号	KMP の 符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	MBA の 符号	KMP の 符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	
	1	プルトニウム受入計量槽	毎年1回	硝酸注入法による校正		1	プルトニウム受入計量槽	毎年1回	硝酸注入法による校正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の適正化</li> <li>・記載の適正化</li> <li>・スラッジの非破壊測定開始に伴う非破壊測定機器の校正方法等を追加</li> <li>・記載の適正化</li> <li>・記載の適正化</li> <li>・記載の適正化</li> <li>・スラッジの非破壊測定開始に伴う非破壊測定機器の校正方法等を追加</li> <li>・記載の適正化</li> </ul>
	5	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正		5	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正	
	5	中性子同時計数装置	測定の都度	チェックソースによる確認		5	中性子測定装置	測定の都度	標準線源による確認	
	6	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正		5	高分解能ガンマ線計測装置	測定の都度	標準線源による確認	
	A	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正		6	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正	
	A	中性子同時計数装置	測定の都度	チェックソースによる確認		A	秤量器	毎月1回	標準分銅による校正	
	B	振動型密度計	毎月1回	標準試料による校正		A	中性子測定装置	測定の都度	標準線源による確認	
	B	天秤	秤量の都度	標準分銅による校正		A	高分解能ガンマ線計測装置	測定の都度	標準線源による確認	
	B	滴定装置	毎月1回	二次標準試料による校正		B	振動型密度計	毎月1回	標準試料による校正	
	B	クーロメトリー装置	毎月1回	一次又は二次標準試料による校正		B	天秤	秤量の都度	標準分銅による校正	
	B	蛍光X線装置	毎月1回	二次標準試料による校正		B	滴定装置	毎月1回	二次標準試料による校正	
	B	放射線計測装置	毎月1回	標準線源による校正		B	クーロメトリー装置	毎月1回	一次又は二次標準試料による校正	
	B	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正		B	蛍光X線装置	毎月1回	二次標準試料による校正	
						B	放射線計測装置	毎月1回	標準線源による校正	
						B	吸光光度計	毎月1回	標準試料による校正	

(注)「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所及びJCSS等の検定書付きのものとする。  
「二次標準試料」とは、一次標準試料により校正されたものとする。

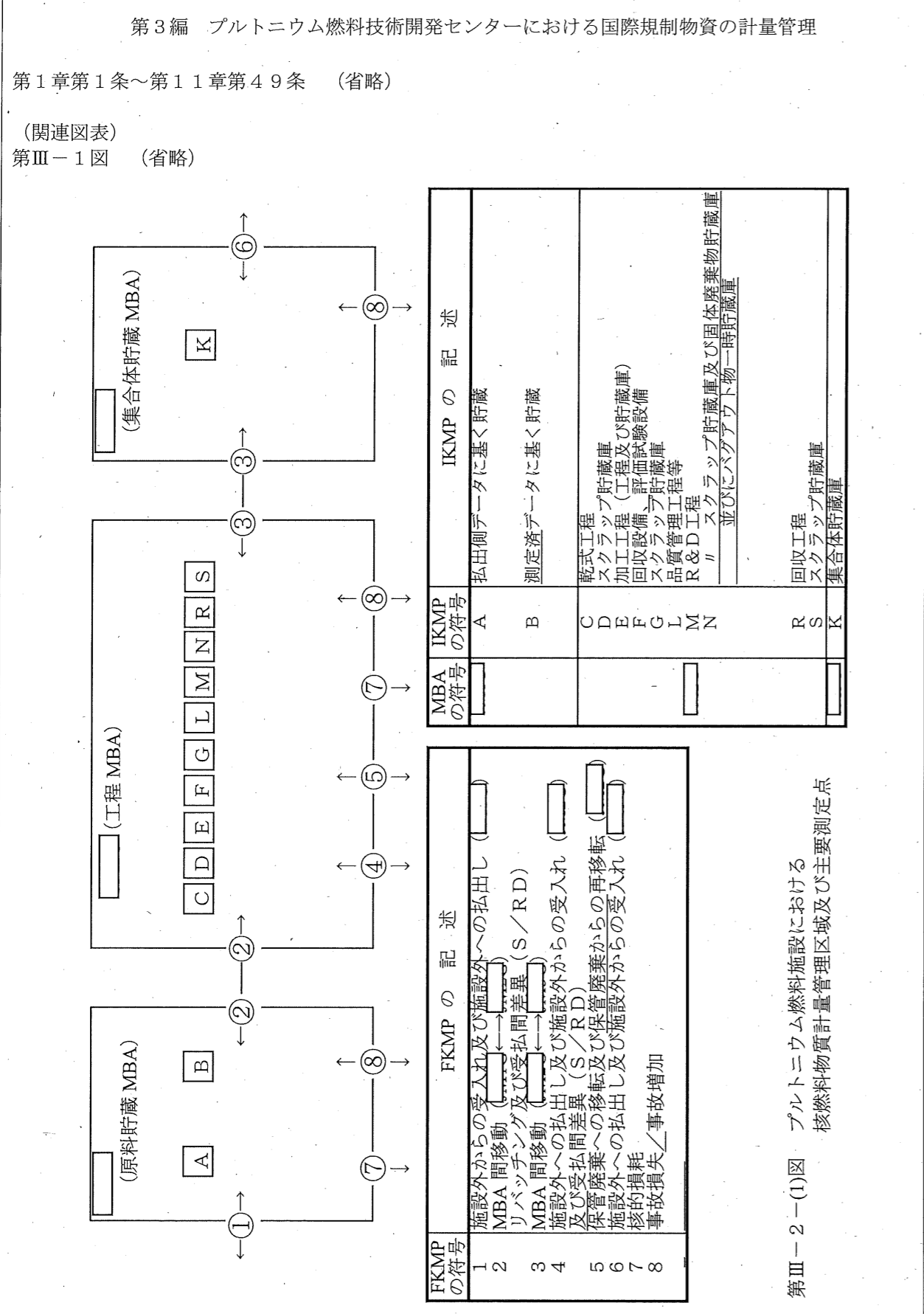
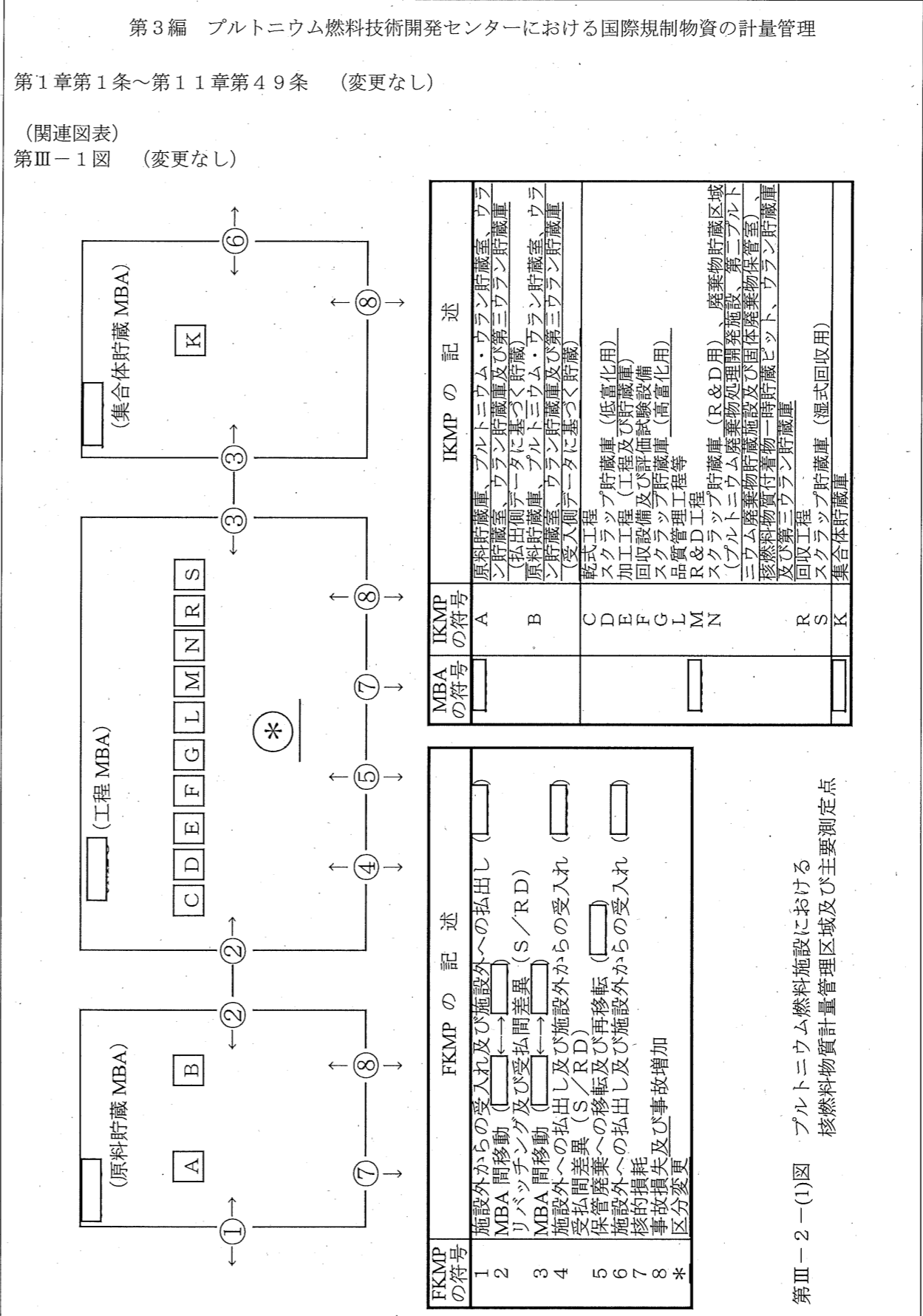
(注)「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所、JCSS等の検定書付きのものとする。  
「二次標準試料」とは、一次標準試料により校正されたものとする。

第Ⅱ-6-(1)表～第Ⅱ-10表 (省略)

第Ⅱ-6-(1)表～第Ⅱ-10表 (変更なし)

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧	新	備考
<p>第3編 プルトニウム燃料技術開発センターにおける国際規制物資の計量管理</p> <p>第1章第1条～第11章第49条 (省略)</p> <p>(関連図表) 第Ⅲ-1図 (省略)</p>  <p>第Ⅲ-2-(1)図 プルトニウム燃料施設における核燃料物質計量管理区域及び主要測定点</p>	<p>第3編 プルトニウム燃料技術開発センターにおける国際規制物資の計量管理</p> <p>第1章第1条～第11章第49条 (変更なし)</p> <p>(関連図表) 第Ⅲ-1図 (変更なし)</p>  <p>第Ⅲ-2-(1)図 プルトニウム燃料施設における核燃料物質計量管理区域及び主要測定点</p>	<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化</li> </ul>



旧		新		備考
<p>(プルトニウム燃料製造施設 MBA)</p>		<p>(プルトニウム燃料製造施設 MBA)</p>		備考 ・記載の適正化
FKMPの符号	FKMPの記述	MBAの符号	IKMPの記述	
1	PuO <sub>2</sub> 又は混合酸化物(以下「MOX」という)粉末(原料物質)の受入れ及び払出し 施設の測定に基づく受払間差異(S/RD) 集合体の払出し及び受入れ 酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し 施設の測定に基づく受払間差異(S/RD) 核物質の受入れ及び払出し(原料以外)		プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫(払出側データに基づく貯蔵) プルトニウム貯蔵庫(受入側データに基づく貯蔵) 原料物質取扱い工程 富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程 燃料ビン及び集合体組立工程 分析物性室 廃棄物貯蔵区域 廃棄物保管庫、 <u>固体廃棄物保管室</u> 集合体貯蔵庫	
2	保管廃棄への移転及び保管廃棄からの再移転			
3	廃棄物の受入れ及び払出し			
4	事故増加及び事故損失			
5	核的損耗、区分変更			
6				
第III-2-(2)図 プルトニウム燃料製造施設における核燃料物質計量管理区域及び主要測定点				
FKMPの符号	FKMPの記述	MBAの符号	IKMPの記述	
1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫) 施設の測定に基づく受払間差異(S/RD) 集合体の受払い 酸化ウラン粉末及びペレットの受払い 施設の測定に基づく受払間差異(S/RD) 施設外からの受入れ及び施設外への払出し(少量核燃料物質) 保管廃棄への移転及び再移転 廃棄物の受払い 事故増加及び事故損失 核的損耗及び区分変更		プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫(払出側データに基づく貯蔵) プルトニウム貯蔵庫(受入側データに基づく貯蔵) 原料物質取扱い工程 富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程 燃料ビン及び集合体組立工程 品質管理工程(分析物性室) 廃棄物貯蔵区域 廃棄物保管庫及び固体廃棄物保管室 集合体貯蔵庫	
2				
3				
4				
5				
6				
第III-2-(2)図 プルトニウム燃料製造施設における核燃料物質計量管理区域及び主要測定点				

旧		新		備考																																											
				<p>・記載の適正化</p>																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>FKMPの符号</th> <th>FKMPの記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プルトニウム燃料製造施設における特定核燃料物質計量管理区域及び主要測定点</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>施設者の測定に基づく受払間差異 (原料以外)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>保管廃棄物の移転及び保管廃棄物からの再移転</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>事故増加及び事故損失</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>特定MBA間移動</td> </tr> </tbody> </table>	FKMPの符号	FKMPの記述	1		プルトニウム燃料製造施設における特定核燃料物質計量管理区域及び主要測定点	2	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)	3	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	4	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し	5	施設者の測定に基づく受払間差異 (原料以外)	6	保管廃棄物の移転及び保管廃棄物からの再移転	7	事故増加及び事故損失	8	特定MBA間移動	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特定MBAの符号</th> <th>IKMPの符号</th> <th>IKMPの記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>A</td> <td>プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>B</td> <td>プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>C</td> <td>原料物質取扱い工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>D</td> <td>富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>E</td> <td>燃料ビン及び集合体組立工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>F</td> <td>分析物性室</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>G</td> <td>廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫、固体廃棄物保管室)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>H</td> <td>集合体貯蔵庫</td> </tr> </tbody> </table>	特定MBAの符号	IKMPの符号	IKMPの記述	—	A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)	—	B	プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)	—	C	原料物質取扱い工程	—	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程	—	E	燃料ビン及び集合体組立工程	—	F	分析物性室	—	G	廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫、固体廃棄物保管室)	—	H	集合体貯蔵庫
FKMPの符号	FKMPの記述																																														
1	プルトニウム燃料製造施設における特定核燃料物質計量管理区域及び主要測定点																																														
2	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)																																														
3	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)																																														
4	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し																																														
5	施設者の測定に基づく受払間差異 (原料以外)																																														
6	保管廃棄物の移転及び保管廃棄物からの再移転																																														
7	事故増加及び事故損失																																														
8	特定MBA間移動																																														
特定MBAの符号	IKMPの符号	IKMPの記述																																													
—	A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)																																													
—	B	プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)																																													
—	C	原料物質取扱い工程																																													
—	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程																																													
—	E	燃料ビン及び集合体組立工程																																													
—	F	分析物性室																																													
—	G	廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫、固体廃棄物保管室)																																													
—	H	集合体貯蔵庫																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>FKMPの符号</th> <th>FKMPの記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>施設外からの受入れ及び施設外への払出し(少量核燃料物質)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>保管廃棄物の移転及び再移転</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>事故増加及び事故損失</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>特定MBA間移動</td> </tr> </tbody> </table>	FKMPの符号	FKMPの記述	1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)	2	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	3	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し	4	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	5	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(少量核燃料物質)	6	保管廃棄物の移転及び再移転	7	事故増加及び事故損失	8	特定MBA間移動	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特定MBAの符号</th> <th>IKMPの符号</th> <th>IKMPの記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>A</td> <td>プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>B</td> <td>プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>C</td> <td>原料物質取扱い工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>D</td> <td>富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>E</td> <td>燃料ビン及び集合体組立工程</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>F</td> <td>品質管理工程 (分析物性室)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>G</td> <td>廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫及び固体廃棄物保管室)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>H</td> <td>集合体貯蔵庫</td> </tr> </tbody> </table>	特定MBAの符号	IKMPの符号	IKMPの記述	—	A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)	—	B	プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)	—	C	原料物質取扱い工程	—	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程	—	E	燃料ビン及び集合体組立工程	—	F	品質管理工程 (分析物性室)	—	G	廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫及び固体廃棄物保管室)	—	H	集合体貯蔵庫	<p>第Ⅲ-2-(3)図 プルトニウム燃料製造施設における特定核燃料物質計量管理区域及び主要測定点</p>
FKMPの符号	FKMPの記述																																														
1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫)																																														
2	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)																																														
3	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し																																														
4	施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)																																														
5	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(少量核燃料物質)																																														
6	保管廃棄物の移転及び再移転																																														
7	事故増加及び事故損失																																														
8	特定MBA間移動																																														
特定MBAの符号	IKMPの符号	IKMPの記述																																													
—	A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫 (払出側データに基づく貯蔵)																																													
—	B	プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基づく貯蔵)																																													
—	C	原料物質取扱い工程																																													
—	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程																																													
—	E	燃料ビン及び集合体組立工程																																													
—	F	品質管理工程 (分析物性室)																																													
—	G	廃棄物貯蔵区域 (固体廃棄物保管庫及び固体廃棄物保管室)																																													
—	H	集合体貯蔵庫																																													

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
第Ⅲ-1-(1)表 プルトニウム燃料施設及びプルトニウム燃料製造施設における施設及び核燃料物質計量管理区域					第Ⅲ-1-(1)表 プルトニウム燃料施設及びプルトニウム燃料製造施設における施設並びに核燃料物質計量管理区域					<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の適正化</li> <li>・第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化</li> <li>・第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化</li> </ul>
使用施設名称	施設名称 (符号)	MBA名称	MBA符号	MBAの範囲	使用施設名称	施設名称 (符号)	MBA名称	MBA符号	MBAの範囲	
プルトニウム燃料第一開発室	プルトニウム燃料施設 ( )	原料貯蔵MBA	□	プルトニウム原料貯蔵庫 ウラン貯蔵庫(原料)	プルトニウム燃料第一開発室	プルトニウム燃料施設 ( )	原料貯蔵MBA	□	原料貯蔵庫、プルトニウム・ウラン貯蔵室、ウラン貯蔵室、ウラン貯蔵庫及び第三ウラン貯蔵庫	
プルトニウム燃料第二開発室		工程MBA	□	工程及びスクラップ貯蔵庫 ウラン貯蔵庫(スクラップ等) 固体廃棄物貯蔵庫 バグアウト物一時貯蔵庫	プルトニウム燃料第二開発室		工程MBA	□	乾式工程 スクラップ貯蔵庫(低富化用) 加工工程(工程及び貯蔵庫) 回収設備及び評価試験設備 スクラップ貯蔵庫(高富化用) 品質管理工程等 R&D工程 スクラップ貯蔵庫(R&D用)、廃棄物貯蔵区域(プルトニウム廃棄物処理開発施設、第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設及び固体廃棄物保管室)、核燃料物質付着物一時貯蔵ピット、ウラン貯蔵庫及び第三ウラン貯蔵庫 回収工程 スクラップ貯蔵庫(湿式回収用)	
		集合体貯蔵MBA	□	集合体貯蔵庫			集合体貯蔵MBA	□	集合体貯蔵庫	
プルトニウム燃料第三開発室	プルトニウム燃料製造施設 ( )	施設全域	□	プルトニウム貯蔵庫 原料一時保管庫 製造工程 集合体貯蔵庫 品質管理工程(分析物性室) 廃棄物貯蔵区域(固体廃棄物保管庫、固体廃棄物保管室)	プルトニウム燃料第三開発室	プルトニウム燃料製造施設 ( )	施設全域	□	プルトニウム貯蔵庫 原料一時保管庫 製造工程 集合体貯蔵庫 品質管理工程(分析物性室) 廃棄物貯蔵区域(固体廃棄物保管庫及び固体廃棄物保管室)	・記載の適正化
第Ⅲ-1-(2)表 (省略)					第Ⅲ-1-(2)表 (変更なし)					

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考
第Ⅲ-2-(1)表 プルトニウム燃料施設における核燃料物質をバッチに区分する方法、ソースデータ及び供給当事国別記録の区分							第Ⅲ-2-(1)表 プルトニウム燃料施設における核燃料物質をバッチに区分する方法、ソースデータ及び供給当事国別記録の区分							
MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し	プルトニウム及び高濃縮ウランについては容器1個 その他の核燃料物質については、同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 容器識別番号 (4) 受入又は払出先 (5) アイテム数 (6) 総重量 (7) 風袋重量 (8) 内容物(酸化物等)の重量 (9) 物理的・化学的性状 (10) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量(測定日付) (11) 同位体比及び分析日(Am241を含む)	バッチ		1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し	プルトニウム及び高濃縮ウランについては容器1個 その他の核燃料物質については、同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)受入又は払出年月日 (3)容器識別番号 (4)受入又は払出先 (5)アイテム数 (6)総重量 (7)風袋重量 (8)内容物(酸化物等)の重量 (9)物理的・化学的性状 (10)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (11)ウランとプルトニウム( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体比及び分析日	バッチ	・記載の適正化
	2	MBA間移動 [ ] ← [ ]	KMP1と同じ		KMP1のデータの他に (12)測定精度			2	MBA間移動 [ ] ← [ ]	KMP1と同じ		KMP1のデータの他に (12)測定精度		・記載の適正化
		受払間差異(S/RD)	1バッチ MBA [ ] の KMP1 又は KMP2 に同じ	上記の KMP1 又は KMP2 に同じ	(1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 払出側データ [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ (4) 受入側データ [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の受入側と払出側の差				受払間差異(S/RD)	1バッチ MBA [ ] の KMP1 又は KMP2 に同じ	上記の KMP1 又は KMP2 に同じ	(1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)払出側データ [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ (4)受入側データ [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ (5)ウランとプルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量の受入側と払出側の差		・記載の適正化
		リバッチング	新しい区分に結合される核物質のバッチ	容器1個	(1) リバッチされる各々のバッチ符号及び容器識別番号 (2) リバッチされる各々の容器の核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (3) リバッチされた物質のバッチ符号及び容器識別番号 (4) リバッチされた物質の容器の総重量、風袋重量及び酸化物重量 (5) 化学的性状 (6) リバッチされた物質の核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (7) リバッチした日付	バッチ			リバッチング	新しい区分に結合される核燃料物質のバッチ	容器1個	(1)リバッチされる各々のバッチ符号及び容器識別番号 (2)リバッチされる各々の容器の元素重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (3)リバッチされた物質のバッチ符号及び容器識別番号 (4)リバッチされた物質の容器の総重量、風袋重量及び酸化物重量 (5)化学的性状 (6)リバッチされた物質の元素重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (7)リバッチした日付	バッチ	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態			ソースデータ	供給当事国別記録の区分
	7	核的損耗	プルトニウム及びプルトニウムとウランの混合粉末	容器 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 内容物(酸化物等)の重量 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 (6) 同位体比 (Am241を含む) (7) 核的損耗量 (8) 貯蔵期間及び計算日	バッチ		7	核的損耗	プルトニウム及びプルトニウムとウランの混合粉末	容器 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 内容物(酸化物等)の重量 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量 (6) 同位体比 ( <sup>241</sup> Amを含む) (7) 核的損耗量 (8) 貯蔵期間及び計算日	バッチ	・記載の適正化
	8	事故損失/事故増加	事故の状況に基づく必要事項					8	事故損失及び事故増加	事故の状況に基づく必要事項				・記載の適正化
	2	MBA間移動 ( ) ← ( )	MBA ( ) の KMP2 に同じ					2	MBA間移動 ( ) ← ( )	MBA ( ) の KMP2 に同じ				
	3	MBA間移動 ( ) ← ( )	集合体 1体	集合体 1体	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 集合体の種類及び番号 (3) 組み込まれているピン番号 (4) 受入又は払出年月日 (5) ピン番号ごとの酸化物重量、核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量(測定日付) (6) 集合体 1体の酸化物重量、核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 (7) 同位体比及び分析日 (Am241を含む) (8) 測定精度	バッチ		3	MBA間移動 ( ) ← ( )	集合体 1体	集合体 1体	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 集合体の種類及び番号 (3) 組み込まれているピン番号 (4) 受入又は払出年月日 (5) ピン番号ごとの酸化物重量、ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) 集合体 1体の酸化物重量、ウランとプルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量 (7) ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び分析日 (8) 測定精度	バッチ	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分			
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム					
[ ]	4	施設外への払出し及び施設外からの受入れ	KMP1と同じ 他に払出しの場合 (12) 測定精度		容器 1個	(1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 物理的・化学的性状 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 他に払出しの場合  (5) 測定精度	[ ]	4	施設外への払出し及び施設外からの受入れ	KMP1と同じ 他に払出しの場合 (12) 測定精度		容器 1個	(1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 物理的・化学的性状 (4) ウランとプルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量 他に払出しの場合 (5) 測定精度	[ ]	[ ]	・記載の適正化
			分析サンプル等の少量核燃料物質 (0.01EKG 未満)	容器 1個						(1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 物理的・化学的性状 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 他に払出しの場合  (5) 測定精度	分析サンプル等の少量核燃料物質 (0.01EKG 未満)					
		固体廃棄物及びバッグアウト物; 同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は 梱包物 1個	(1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日  (6) 測定精度 (ある場合は)	固体廃棄物及び核燃料物質付着物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個			(1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) 測定精度 (ある場合は)	[ ]	受払間差異 (S/RD)	1 バッチ	上記の			
MBA [ ] の KMP1 又は KMP2 に同じ	KMP1 又は KMP2 に同じ	(2) 容器識別番号 (3) 払出側データ ( [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ) (4) 受入側データ ( [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ) (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の受入側と払出側の差	1 バッチ	上記の	(2) 容器識別番号 (3) 払出側データ ( [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ) (4) 受入側データ ( [ ] の KMP1 又は KMP2 と同じ) (5) ウランとプルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量の受入側と払出側の差											
[ ]	5	保管廃棄への移転及び保管廃棄からの再移転	各物質収支期間に発生した廃棄物	容器 1個 又は 梱包物	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 受入又は払出年月日	[ ]	5	保管廃棄からの再移転	[ ]	[ ]	(削る)	[ ]	[ ]	[ ]	・記載の適正化	
			保管廃棄からの再移転	1個	(4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物 (酸化物等) の重量 (7) 物理的・化学的性状 (8) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 (測定日付) (9) 推定同位体比 (Am241 を含む) (10) 測定精度											

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考			
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分		
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム				
	5	保管廃棄への移 転及び保管廃棄 からの再移転	固体廃棄物 移転ごと	容器 1個 又は 梱包物 1個	(1)バッチ符号 (2)容器又は梱包物の識別 番号 (3)移動年月日 (4)物理的・化学的性状 (5)核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量及 び測定日  (6)測定精度 (ある場合は)	バッチ		5	保管廃棄への移 転及び再移転	固体廃棄物 移転ごと	容器 1個 又は 梱包物 1個	(1)バッチ符号 (2)容器又は梱包物の識別 番号 (3)移動年月日 (4)物理的・化学的性状 (5)ウランとプルトニウム の元素重量、特定核分裂 性物質重量及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位 体比 (7)測定精度 (ある場合は)	バッチ	・記載の適正化	
	7	核的損耗 (WDASの初期 測定は除く)	MBA [ ] のKMP7に 同じ	容器 1個 又は 同一 仕様の 核燃料 物質	MBA [ ] のKMP7に 同じ			7	核的損耗 (WDASの初期 測定は除く)	MBA [ ] のKMP7に 同じ	容器 1個 又は 同一 仕様の 核燃料 物質	MBA [ ] のKMP7に 同じ			
	8	事故損失/事故 増加	MBA [ ]のKMP8に同じ					8	事故損失及び事 故増加	MBA [ ]のKMP8に同じ					・記載の適正化
							*	区分変更	新しい区分 に結合され る核燃料物 質のバッチ	容器 1個	(1)バッチ符号 (2)ウラン元素重量及び特 定核分裂性物質重量の 合計量		・記載の適正化		
	3	MBA間移動 ( [ ] ↔ [ ] )	MBA [ ]のKMP3に同じ			バッチ		3	MBA間移動 ( [ ] ↔ [ ] )	MBA [ ]のKMP3に同じ					
	6	施設外への払出 し及び施設外か らの受入れ	MBA [ ]のKMP3に同じ					6	施設外への払出 し及び施設外か らの受入れ	MBA [ ]のKMP3に同じ					
	8	事故損失/事故 増加	MBA [ ]のKMP8に同じ					8	事故損失及び事 故増加	MBA [ ]のKMP8に同じ				・記載の適正化	

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	A	払出側のデータに基づく貯蔵	プルトニウム及び高濃縮ウラン原料については容器1個	容器 1個	KMP1に同じ	バッチ		A	原料貯蔵庫、プルトニウム・ウラン貯蔵室、ウラン貯蔵庫及び第三ウラン貯蔵庫内在庫（払出側のデータに基づく貯蔵）	プルトニウム及び高濃縮ウラン原料については容器1個	容器 1個	KMP1に同じ	バッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化</li> </ul>
		その他の核燃料物質については同一仕様のもの	KMP1の受入に同じ		KMP1の受入に同じ									
	B	測定済核物質の貯蔵	KMP2のMBA間移動に同じ			総量		B	原料貯蔵庫、プルトニウム・ウラン貯蔵室、ウラン貯蔵庫及び第三ウラン貯蔵庫内在庫（受入側のデータに基づく貯蔵）	KMP2のMBA間移動に同じ			総量	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化</li> </ul>
	C	乾式工程	同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は、 1グローブボックス	(1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)物理的・化学的性状 (4)総重量 (5)風袋重量 (6)酸化物重量 (7)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量（測定日付） (8)同位体比及び分析日（Am241を含む） (9)測定精度				C	乾式工程内在庫	同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は、 1グローブボックス		
		同一仕様の核燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)ピン番号 (3)物理的・化学的性状 (4)酸化物重量 (5)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量（測定日付） (6)同位体比及び分析日（Am241を含む） (7)測定精度	同一仕様の核燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)ピン番号 (3)物理的・化学的性状 (4)酸化物重量 (5)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び分析日 (7)測定精度	<ul style="list-style-type: none"> <li>記載の適正化</li> </ul>						



核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	D	スクラップ 貯蔵庫	同一仕様の核 燃料物質	容_器 1個	(1)_バッチ符号 (2)_容器識別番号 (3)_物理的・化学的・形状 (4)_総重量 (5)_風袋重量 (6)_酸化物重量 (7)_核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量 (測定日付) (8)_同位体比及び分析日 (Am241を含む) (9)_測定精度	総_量		D	スクラップ貯蔵庫 (低富化用)内在庫	同一仕様の核燃 料物質	容_器 1個	(1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)物理的・化学的・形状 (4)総重量 (5)風袋重量 (6)酸化物重量 (7)ウランとプルトニウムの元素 重量、特定核分裂性物質重量 及び測定日 (8)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Am を含む) の同位体比及び分析 日 (9)測定精度	総量	・記載の適正化
	E	加工工程	同一仕様の核 燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1)_バッチ符号 (2)_ピン番号 (3)_物理的・化学的・形状 (4)_酸化物重量 (5)_核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量 (測定日付) (6)_同位体比及び分析日 (Am241を含む) (7)_測定精度		E	加工工程内在庫	同一仕様の核燃 料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)ピン番号 (3)物理的・化学的・形状 (4)酸化物重量 (5)ウランとプルトニウムの元素 重量、特定核分裂性物質重量 及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Am を含む) の同位体比及び分析 日 (7)測定精度	・記載の適正化		
	F	回収設備、評価 試験設備	KMPCに同じ				F	回収設備及び評価 試験設備内在庫	KMPCに同じ					・記載の適正化
	G	スクラップ貯蔵 庫	KMPDに同じ				G	スクラップ貯蔵庫 (高富化用)内在庫	KMPDに同じ					・記載の適正化
	L	品質管理工程等	同一仕様の核 燃料物質	容_器 1個	単位体ごとに (1)_バッチ符号 (2)_物理的・化学的・形状 (3)_内容物(酸化物等)の重 量 (4)_風袋重量 (5)_核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量 (測定日付) (6)_同位体比及び分析日 (Am241を含む) (7)_測定精度		L	品質管理工程等内 在庫	同一仕様の核燃 料物質	容_器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)物理的・化学的・形状 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)風袋重量 (5)ウランとプルトニウムの元素 重量、特定核分裂性物質重量 及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Am を含む) の同位体比及び分析 日 (7)測定精度	・記載の適正化		

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態			ソースデータ	供給当事 国別記録 の区分
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
[ ]	M	R&D工程	KMPCに同じ		総量	[ ]	M	R&D工程内在庫	KMPCに同じ		総量	[ ]		
	N	R&Dスクラップ貯蔵庫及び固体廃棄物貯蔵庫並びにバグアウト物一時貯蔵庫	固体廃棄物及びバグアウト物;同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は 梱包物 1個			単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 物理的・化学的性状 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (5) 測定精度 (ある場合は)	N	スクラップ貯蔵庫 (R&D用)、廃棄物貯蔵区域 (プルトニウム廃棄物処理開発施設、第二プルトニウム廃棄物貯蔵施設及び固体廃棄物保管室)、核燃料物質付着物一時貯蔵ピット、ウラン貯蔵庫及び第三ウラン貯蔵庫内在庫	固体廃棄物及び核燃料物質付着物 (同一仕様の核燃料物質)			容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器又は梱包物の識別番号 (3)物理的・化学的性状 (4)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (5)測定精度 (ある場合は)
	R	回収工程	硝酸プルトニウム又は硝酸プルトニウム・ウラン混合溶液	タンク 1基			単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)タンク番号 (3)容量、密度及び温度 (4)物理的・化学的性状 (5)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 (測定日付) (6)同位体比及び分析日 (Am241を含む) (7)測定精度	R	回収工程内在庫	硝酸プルトニウム又は硝酸プルトニウム・ウラン混合溶液			タンク 1基	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)タンク番号 (3)容量、密度及び温度 (4)物理的・化学的性状 (5)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び分析日 (7)測定精度
[ ]	S	スクラップ貯蔵庫	KMPDに同じ		[ ]	[ ]	S	スクラップ貯蔵庫 (湿式回収用) 内在庫	KMPDに同じ		[ ]			
[ ]	K	集合体貯蔵庫	MBA [ ] の KMP3 に同じ			[ ]	K	集合体貯蔵庫内在庫	MBA [ ] の KMP3 に同じ			[ ]		
[ ]	[ ]	[ ]	同一仕様の核燃料物質	容器 1個	KMPCに同じ	[ ]	[ ]	同一仕様の核燃料物質	容器 1個	KMPCに同じ	[ ]			

- ・記載の適正化
- ・第三ウラン貯蔵庫の運転開始に伴う変更及び記載の適正化
- ・記載の適正化
- ・記載の適正化
- ・記載の適正化
- ・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
第Ⅲ-2-(2)表 プルトニウム燃料製造施設の核燃料物質計量管理区域における核燃料物質をバッチに区分する方法及びソースデータ					第Ⅲ-2-(2)表 プルトニウム燃料製造施設の核燃料物質計量管理区域における核燃料物質をバッチに区分する方法及びソースデータ					・記載の適正化		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム					バッチ			アイテム
	1	PuO <sub>2</sub> 又はMOX 粉末(原料物質)の受 入れ及び払出し  施設者の測定に基づ く受払間差異 (S/RD)	プルトニウム 及び濃縮ウラ ンについては 単位体ごと、そ の他の核燃料 物質について は同一仕様で 1回の輸送で 受入れたもの	缶 1個、 キャニ スター 1基、 貯蔵容器 1基、 もしくは ビン 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 缶、キャニスター、貯蔵 容器又はビンの識別番 号 (4) 受入又は払出先 (5) 総重量 (6) 風袋重量 (7) 内容物(酸化物等)の重 量 (8) 物理的・化学的性状 (9) 核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量及 び分析日 (10) ウラン及びプルトニウ ムの同位体比(Am241 を含む)及び分析日 (11) 施設側データに基づく 原料物質の払出しの場合 のランダム誤差及びシ ステムティック誤差		1	施設外からの受入れ 及び施設外への払出 し(プルトニウム貯 蔵庫又は原料一時保 管庫)  施設者の測定に基づ く受払間差異 (S/RD)	プルトニウム 及び濃縮ウラ ンについては 単位体ごと、そ の他の核燃料 物質について は同一仕様で 1回の輸送で 受入れたもの	缶 1個  又は 貯蔵容器 1基 もしくは ビン 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)受入又は払出年月日 (3)缶、貯蔵容器又はビンの識 別番号 (4)受入又は払出先 (5)総重量 (6)風袋重量 (7)内容物(酸化物等)の重量 (8)物理的・化学的性状 (9)ウランとプルトニウムの 元素重量、特定核分裂性物 質重量及び分析日 (10)ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体 比及び分析日 (11)施設側データに基づく原 料物質の払出しの場合の ランダム誤差及びシステ マティック誤差	・記載の適正化
	2	集合体の払出し及び 受入れ	集合体1体	集合体 1体	単位体ごとに (1) 集合体の識別番号 (2) 集合体中のピン番号 (3) バッチ符号 (4) 払出又は受入年月日 (5) 化学的性状 (6) ピンごともしくは同一 仕様のピンのグループ ごとの： ・核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量及 び分析日 ・ウラン及びプルトニウ ムの同位体比(Am241 を含む)及び分析日 (7) 集合体の： ・核燃料物質重量及び特 定核分裂性物質重量及 び分析日 ・ウラン及びプルトニウ ムの同位体比(Am241 を含む)及び分析日 (8) ランダム誤差及びシ ステムティック誤差		2	集合体の払出し及び 受入れ	集合体1体	集合体 1体	単位体ごとに (1)集合体の識別番号 (2)集合体中のピン番号 (3)バッチ符号 (4)払出又は受入年月日 (5)化学的性状 (6)ピンごともしくは同一仕 様のピンのグループごと の： ・ウランとプルトニウムの 元素重量、特定核分裂性物 質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体 比及び分析日 (7)集合体の： ・ウランとプルトニウムの 元素重量、特定核分裂性物 質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体 比及び分析日 (8)ランダム誤差及びシステ マティック誤差	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム					バッチ	アイテム		
	3	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し  施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	1缶 又は 1箱	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 受入又は払出先 (4) 物理的・化学的性状 (5) 内容物 (酸化物等) の重量 (6) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 濃縮度 (8) 施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差		3	酸化ウラン粉末及びペレットの受払い  施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	1缶 又は 1箱	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 受入又は払出先 (4) 物理的・化学的性状 (5) 内容物 (酸化物等) の重量 (6) ウランの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 濃縮度 (8) 施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化
	4	核物質の受入れ及び払出し (原料以外)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器 1個	(1) 容器識別番号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 物理的・化学的性状 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (5) ランダム誤差及びシステムティック誤差		4	施設外からの受入れ及び施設外への払出し (少量核燃料物質)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器 1個	(1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 受入又は払出年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) ランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化
	5	保管廃棄への移転及び保管廃棄からの再移転	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウムの同位体比 (Am241含む) (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)		5	保管廃棄への移転及び再移転	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び計算日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)	・記載の適正化
		廃棄物の受入れ及び払出し	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウムの同位体比 (Am241含む) (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)			廃棄物の受払い	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び計算日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)	・記載の適正化
		事故損失/事故増加	事故の状況に基づく必要事項					事故損失及び事故増加	事故の状況に基づく必要事項			・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫変動の タイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム						バッチ		アイテム
	6	核的損耗	原料粉末につ いては： 容器 1個	容器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)物理的・化学的性状 (5)核燃料物質重量及び特定 核分裂性物質重量 (6)同位体比(Am241を含む) (7)核的損耗量 (8)期間及び計算日		6	核的損耗	原料粉末につ いては： 容器 1個	容器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)物理的・化学的性状 (5)プルトニウムの元素重量 及び特定核分裂性物質重 量 (6)同位体比( <sup>241</sup> Amを含む) (7)核的損耗量 (8)期間及び計算日	・記載の適正化
		区分変更	新しい区分に 結合される核 物質のバッチ	容器 1個	(1)バッチ符号 (2)核燃料物質重量及び 特定核分裂性物質重 量の合計量			区分変更	新しい区分に 結合される核 燃料物質のバ ッチ	容器 1個	(1)バッチ符号 (2)ウランの元素重量及び特 定核分裂性物質重量の合 計量	・記載の適正化
	A	プルトニウム貯蔵庫 及び原料一時保管庫 (払出側データに基 づく貯蔵)	KMP1に同じ				A	プルトニウム貯蔵庫 及び原料一時保管庫 内在庫(払出側デー タに基づく貯蔵)	KMP1に同じ			・記載の適正化
	B	プルトニウム貯蔵庫 (受入側データに基 づく貯蔵)	KMP1に同じ				B	プルトニウム貯蔵庫 内在庫(受入側デー タに基づく貯蔵)	KMP1に同じ			・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム					バッチ	アイテム		
	C	原料物質取扱い工程	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 もしくは 缶 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 粉末搬送容器及び缶識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的形狀 (8) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差			原料物質取扱い工程 内在庫	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 又は 缶 1個 もしくは 貯蔵容器 1基	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 粉末搬送容器、缶又は貯蔵容器の識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的形狀 (8) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化
			ホールドアップ	1 グローブ ボックス	単位体ごとに (1) グローブボックス番号 (2) グローブボックスの位置 (3) 受払い間の差もしくはS B A S測定値 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (5) ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) の平均値 (6) ランダム誤差及びシステムティック誤差				ホールドアップ	1 グローブ ボックス	単位体ごとに (1) グローブボックス番号 (2) グローブボックスの位置 (3) 受払い間の差もしくはS B A S測定値 (4) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (5) ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比の平均値及び計算日 (6) ランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム					バッチ	アイテム		
	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個、 缶 1個、 もしくは キャニスター 1基	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 粉末搬送容器、缶及びキャニスターの識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的性状 (8) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差			富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程内在庫	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 又は 缶 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 搬送容器又は缶の識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的性状 (8) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化
			ホールドアップ	KMPCに同じ				ホールドアップ	KMPCに同じ			
	E	燃料ピン及び集合体組立工程	同一仕様の燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) ピン番号 (3) パレット番号と貯蔵位置 (4) 化学的性状 (5) 酸化物重量 (6) ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの： ・核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差			燃料ピン及び集合体組立工程内在庫	同一仕様の燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) ピン番号 (3) パレット番号と貯蔵位置 (4) 化学的性状 (5) 酸化物重量 (6) ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの： ・ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比及び分析日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	MBA の 符号	KMP の 符号	在庫の タイプ	代表的形態		ソースデータ	
			バッチ	アイテム					バッチ	アイテム		
	F	分析物性室	同一仕様の核燃料物質	一定でない	バッチごとに (1)_バッチ符号 (2)_内容物の重量 (3)_化学的性状 (4)_核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (5)_ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (6)_ランダム誤差及びシステマティック誤差		F	品質管理工程内在庫	同一仕様の核燃料物質	一定でない	バッチごとに (1)バッチ符号 (2)内容物の重量 (3)化学的性状 (4)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (5)ウランとプルトニウム ( $^{241}\text{Am}$ を含む)の同位体比及び分析日 (6)ランダム誤差及びシステマティック誤差	・記載の適正化
	G	固体廃棄物	同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1)_バッチ符号 (2)_容器又は梱包物の識別番号 (3)_貯蔵場所 (4)_物理的・化学的性状 (5)_核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日  (6)_ランダム誤差及びシステマティック誤差 (ある場合は)		G	廃棄物貯蔵区域内在庫	同一仕様の核燃料物質	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器又は梱包物の識別番号 (3)貯蔵場所 (4)物理的・化学的性状 (5)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( $^{241}\text{Am}$ を含む)の同位体比及び計算日 (7)ランダム誤差及びシステマティック誤差 (ある場合は)	・記載の適正化
	H	集合体貯蔵庫	KMP2 に同じ 他に (9) 貯蔵位置				H	集合体貯蔵庫内在庫	KMP2 に同じ 他に (9) 貯蔵位置			・記載の適正化



核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
第Ⅲ-2-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域における核燃料物質をバッチに区分する方法、ソースデータ及び供給当事国別記録の区分						第Ⅲ-2-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域における核燃料物質をバッチに区分する方法、ソースデータ及び供給当事国別記録の区分								
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	1	PuO <sub>2</sub> 又はMOX粉末(原料物質)の受入れ及び払出し 施設者の測定に基づく受払間差異(S/RD)	プルトニウム及び濃縮ウランについては単位体ごと、その他の核燃料物質については同一仕様で1回の輸送で受入れたもの	缶 1個、 キヤニスター ター 1基、 貯蔵容器 1基 もしくは ビン 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)受入又は払出年月日 (3)缶、キヤニスター、貯蔵容器又はビンの識別番号 (4)受入又は払出先 (5)総重量 (6)風袋重量 (7)内容物(酸化物等)の重量 (8)物理的・化学的性状 (9)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (10)ウラン及びプルトニウムの同位体比(Am241を含む)及び分析日 (11)施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差	バッチ		1	施設外からの受入れ及び施設外への払出し(プルトニウム貯蔵庫又は原料一時保管庫) 施設者の測定に基づく受払間差異(S/RD)	プルトニウム及び濃縮ウランについては単位体ごと、その他の核燃料物質については同一仕様で1回の輸送で受入れたもの	缶 1個 又は 貯蔵容器 1基 もしくは ビン 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)受入又は払出年月日 (3)缶、貯蔵容器又はビンの識別番号 (4)受入又は払出先 (5)総重量 (6)風袋重量 (7)内容物(酸化物等)の重量 (8)物理的・化学的性状 (9)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (10)ウランとプルトニウム( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体比及び分析日 (11)施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差	バッチ	・記載の適正化
	6	リバッチング	新しい区分に結合される核物質のバッチ	容器 1個	(1)リバッチされる各々のバッチ符号及び容器識別番号 (2)リバッチされる各々の容器の核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (3)リバッチされた物質のバッチ符号及び容器識別番号 (4)リバッチされた物質の容器の総重量、風袋重量及び酸化物重量 (5)物理的・化学的性状 (6)リバッチされた物質の核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (7)リバッチした日付			6	リバッチング	新しい区分に結合される核燃料物質のバッチ	容器 1個	(1)リバッチされる各々のバッチ符号及び容器識別番号 (2)リバッチされる各々の容器の元素重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (3)リバッチされた物質のバッチ符号及び容器識別番号 (4)リバッチされた物質の容器の総重量、風袋重量及び酸化物重量 (5)物理的・化学的性状 (6)リバッチされた物質の元素重量及び特定核分裂性物質重量の合計量 (7)リバッチした日付		・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	6	核的損耗	容_器	容_器 1個	単位体ごとに (1)_バッチ符号 (2)_容器識別番号 (3)_内容物(酸化物等)の重量 (4)_物理的・化学的性状 (5)_核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量  (6)_同位体比( <u>Am241</u> を含む) (7)_核的損耗量 (8)_期間及び計算日	バッチ		6	核的損耗	容器	容器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)物理的・化学的性状 (5)プルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量 (6)同位体比( <u><sup>241</sup>Am</u> を含む) (7)核的損耗量 (8)期間及び計算日	バッチ	・記載の適正化
	7	特定MBA間移動	KMP1に同じ					7	特定MBA間移動	KMP1に同じ				

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考	
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分		
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム				
	3	酸化ウラン粉末及びペレットの受入れ及び払出し  施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	1缶 又は 1箱	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 受入又は払出先 (4) 物理的・化学的性状 (5) 内容物 (酸化物等) の重量 (6) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 濃縮度 (8) 施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差	バッチ		3	酸化ウラン粉末及びペレットの受払い  施設者の測定に基づく受払間差異 (S/RD)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	1缶 又は 1箱	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 受入又は払出先 (4) 物理的・化学的性状 (5) 内容物 (酸化物等) の重量 (6) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (7) 濃縮度 (8) 施設側データに基づく原料物質の払出しの場合のランダム誤差及びシステムティック誤差	バッチ	・記載の適正化	
	4	核物質の受入れ及び払出し (原料以外)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器 1個	(1) 容器識別番号 (2) 受入又は払出年月日 (3) 物理的性状 (4) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (5) ランダム誤差及びシステムティック誤差			4	施設外からの受入れ及び施設外への払出し (少量核燃料物質)	同一仕様で1回の輸送で受け入れたもの	容器 1個	(1) バッチ符号 (2) 容器識別番号 (3) 受入又は払出年月日 (4) 物理的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (6) ランダム誤差及びシステムティック誤差			・記載の適正化
	5	保管廃棄への移転及び保管廃棄からの再移転	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウムの同位体比 (Am241含む) (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)			5	保管廃棄への移転及び再移転	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び計算日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)			・記載の適正化
		廃棄物の受入れ及び払出し	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウラン及びプルトニウムの同位体比 (Am241含む) (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)			廃棄物の受払い	廃棄物 (同一仕様の核燃料物質)	容器 1個 又は 梱包物 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 容器又は梱包物の識別番号 (3) 移動年月日 (4) 物理的・化学的性状 (5) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6) ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む) の同位体比及び計算日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)		・記載の適正化		

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫変動のタイプ	代表的形態			ソースデータ	供給当事国別記録の区分
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	5	事故損失/事故増加	事故の状況に基づく必要事項			バッチ		5	事故損失及び事故増加	事故の状況に基づく必要事項			バッチ	・記載の適正化
	6	核的損耗	原料粉末については： 容器 1個	容器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)物理的・化学的性状 (5)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量 (6)同位体比( <sup>241</sup> Amを含む) (7)核的損耗量 (8)期間及び計算日	バッチ		6	核的損耗	原料粉末については： 容器 1個	容器 1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器識別番号 (3)内容物(酸化物等)の重量 (4)物理的・化学的性状 (5)プルトニウムの元素重量及び特定核分裂性物質重量 (6)同位体比( <sup>241</sup> Amを含む) (7)核的損耗量 (8)期間及び計算日	バッチ	・記載の適正化
		区分変更	新しい区分に結合される核物質のバッチ	容器 1個	(1)バッチ符号 (2)核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量の合計量				区分変更	新しい区分に結合される核燃料物質のバッチ	容器 1個	(1)バッチ符号 (2)ウランの元素重量及び特定核分裂性物質重量の合計量		・記載の適正化
	7	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	特定MBA [ ] のKMP1に同じ 他に(10)測定精度			バッチ		7	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	特定MBA [ ] のKMP1に同じ			バッチ	・記載の適正化
	8	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	集合体 1体	集合体 1体	単位体ごとに (1)集合体の識別番号 (2)集合体中のピン番号 (3)バッチ符号 (4)払出又は受入年月日 (5)化学的性状 (6)ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの： ・核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び分析日 (7)集合体の： ・核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( <sup>241</sup> Amを含む) 及び分析日 (8)ランダム誤差及びシステムティック誤差	1ヶ月間の総量		8	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	集合体 1体	集合体 1体	単位体ごとに (1)集合体の識別番号 (2)集合体中のピン番号 (3)バッチ符号 (4)払出又は受入年月日 (5)化学的性状 (6)ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの： ・ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体比及び分析日 (7)集合体の： ・ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( <sup>241</sup> Amを含む)の同位体比及び分析日 (8)ランダム誤差及びシステムティック誤差	1ヶ月間の総量	・記載の適正化
	2	集合体の払出し及び受入れ	特定MBA [ ] のKMP8と同じ			バッチ		2	集合体の受払い	特定MBA [ ] のKMP8と同じ			バッチ	・記載の適正化
	8	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	特定MBA [ ] のKMP8と同じ			1ヶ月間の総量		8	特定MBA間移動 [ ] ← [ ]	特定MBA [ ] のKMP8と同じ			1ヶ月間の総量	

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫（払出側データに基づく貯蔵）	KMP1に同じ			バッチ		A	プルトニウム貯蔵庫及び原料一時保管庫内在庫（払出側データに基づく貯蔵）	KMP1に同じ			バッチ	・記載の適正化
	B	プルトニウム貯蔵庫（受入側データに基づく貯蔵）						B	プルトニウム貯蔵庫内在庫（受入側データに基づく貯蔵）					
	C	原料物質取扱い工程	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 もしくは 缶 1個	単位体ごとに (1) __バッチ符号 (2) __粉末搬送容器及び缶の識別番号 (3) __貯蔵位置 (4) __総重量 (5) __風袋重量 (6) __内容物（酸化物等）の重量 (7) __化学的形狀 (8) __核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) __ウラン及びプルトニウムの同位体比（ $^{241}\text{Am}$ を含む）及び分析日 (10) __ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量		C	原料物質取扱い工程内在庫	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 又は 缶 1個 もしくは 貯蔵容器 1基	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)粉末搬送容器、缶又は貯蔵容器の識別番号 (3)貯蔵位置 (4)総重量 (5)風袋重量 (6)内容物（酸化物等）の重量 (7)化学的形狀 (8)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (9)ウランとプルトニウム（ $^{241}\text{Am}$ を含む）の同位体比及び分析日 (10)ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量	・記載の適正化
			ホールドアップ	1 グローブボックス	単位体ごとに (1) __グローブボックス番号 (2) __グローブボックスの位置 (3) __受払い間の差もしくはSBAS測定値 (4) __核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日 (5) __ウラン及びプルトニウムの同位体比（ $^{241}\text{Am}$ を含む）の平均値 (6) __ランダム誤差及びシステムティック誤差					ホールドアップ	1 グローブボックス	単位体ごとに (1)グローブボックス番号 (2)グローブボックスの位置 (3)受払い間の差もしくはSBAS測定値 (4)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (5)ウランとプルトニウム（ $^{241}\text{Am}$ を含む）の同位体比の平均値及び計算日 (6)ランダム誤差及びシステムティック誤差		

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧							新							備考
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個、 缶 1個、 もしくは キャニスター 1基	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 粉末搬送容器、缶及びキャニスターの識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的形狀 (8) 核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量		D	富化度調整後粉末及びペレット取扱い工程内在庫	同一仕様の核燃料物質	搬送容器 1個 又は 缶 1個	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) 搬送容器又は缶の識別番号 (3) 貯蔵位置 (4) 総重量 (5) 風袋重量 (6) 内容物(酸化物等)の重量 (7) 化学的形狀 (8) ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (9) ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比及び分析日 (10) ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量	・記載の適正化
	E	燃料ピン及び集合体組立工程	同一仕様の燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) ピン番号 (3) パレット番号と貯蔵位置 (4) 化学的形狀 (5) 酸化物重量 (6) ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの: ・核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差			E	燃料ピン及び集合体組立工程内在庫	同一仕様の燃料ピン	ピン 1本	単位体ごとに (1) バッチ符号 (2) ピン番号 (3) パレット番号と貯蔵位置 (4) 化学的形狀 (5) 酸化物重量 (6) ピンごともしくは同一仕様のピンのグループごとの: ・ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 ・ウランとプルトニウム ( $^{241}Am$ を含む) の同位体比及び分析日 (7) ランダム誤差及びシステムティック誤差		

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考		
特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	特定MBAの符号	KMPの符号	在庫のタイプ	代表的形態		ソースデータ	供給当事国別記録の区分	
			バッチ	アイテム						バッチ	アイテム			
	F	分析物性室	同一仕様の核燃料物質	一定でない	バッチごとに (1)_バッチ符号 (2)_内容物の重量 (3)_化学的形狀 (4)_核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び分析日 (5)_ウラン及びプルトニウムの同位体比 ( $A_{m241}$ を含む) 及び分析日 (6)_ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量		F	品質管理工程内 在庫	同一仕様の核燃料物質	一定でない	バッチごとに (1)バッチ符号 (2)内容物の重量 (3)化学的形狀 (4)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び分析日 (5)ウランとプルトニウム ( $^{241}\text{Am}$ を含む)の同位体比及び分析日 (6)ランダム誤差及びシステムティック誤差	総量	・記載の適正化
	G	固体廃棄物	同一仕様の核燃料物質	容器1個 又は 梱包物1個	単位体ごとに (1)_バッチ符号 (2)_容器又は梱包物の識別番号 (3)_貯蔵場所 (4)_物理的・化学的形狀 (5)_核燃料物質重量及び特定核分裂性物質重量及び測定日  (6) ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)			G	廃棄物貯蔵区域 内在庫	同一仕様の核燃料物質	容器1個 又は 梱包物1個	単位体ごとに (1)バッチ符号 (2)容器又は梱包物の識別番号 (3)貯蔵場所 (4)物理的・化学的形狀 (5)ウランとプルトニウムの元素重量、特定核分裂性物質重量及び測定日 (6)ウランとプルトニウム ( $^{241}\text{Am}$ を含む)の同位体比及び計算日 (7)ランダム誤差及びシステムティック誤差 (ある場合は)		・記載の適正化
	H	集合体貯蔵庫	KMP2に同じ 他に (9) 貯蔵位置						H	集合体貯蔵庫内 在庫	特定MBA <input type="text"/> のKMP8と同じ 他に (9) 貯蔵位置			・記載の適正化

第Ⅲ-3-(1)表~第Ⅲ-3-(4)表 (省略)

第Ⅲ-3-(1)表~第Ⅲ-3-(4)表 (変更なし)

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考		
第Ⅲ-4-(1)表 プルトニウム燃料施設の各主要測定点における測定					第Ⅲ-4-(1)表 プルトニウム燃料施設の各主要測定点における測定							
MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		
				目的	方法・機器					目的	方法・機器	
	1	粉末 二酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤		1	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
	2	粉末 二酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確認 Pu 含有率確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 同位体希釈質量分析法 (IDMS法) 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置		2	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確認 Pu 含有率確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 同位体希釈質量分析法 (IDMS法) 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置	
	7	粉末 二酸化物	容器 1 個	核的損耗	計算		7	粉末 二酸化物	容器 1 個	核的損耗	計算	
	2	の KMP2 に同じ										
	3	集合体 二酸化物	集合体 1 体	員数確認 番号確認	計数 目視		3	集合体 二酸化物	集合体 1 体	員数確認 番号確認	計数 目視	
	4	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 固体 化合物 ピン	容器 1 個 ピン 1 本 容器 1 個 梱包物 1 個	員数確認 番号確認 Pu 含有量確定	計数 目視 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS		4	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 固体 化合物 ピン 硝酸塩 液体	容器 1 個 ピン 1 本 容器 1 個 梱包物 1 個	員数確認 番号確認 Pu 含有量確定	計数 目視 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS	・記載の適正化
	5	固体 二酸化物 化合物 他の酸化物 窒化物 液体 硝酸塩	容器 1 個 梱包物 1 個 容器 1 個 容器 1 個	員数確認 番号確認 Pu 含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS、WCAS、 PSMC又はENMC 目視 レベル計 アルファ計数法 測定器		5	固体 二酸化物 液体 化合物 他の酸化物 窒化物 硝酸塩	容器 1 個 梱包物 1 個 容器 1 個 容器 1 個	員数確認 番号確認 Pu 含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS、WCAS、 PSMC又はENMC 目視 レベル計 アルファ計数法 測定器	・記載の適正化
	7	粉末 二酸化物 ペレット 二酸化物 (WDASの初期 測定は除く)	容器 1 個 同一仕様の 核燃料物質	核的損耗	計算		7	粉末 二酸化物 ペレット (WDASの初期 測定は除く)	容器 1 個 同一仕様の 核燃料物質	核的損耗	計算	・記載の適正化
	3	の KMP3 に同じ										
	6	の KMP3 に同じ										



核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容			
				目的	方法・機器					目的	方法・機器		
□	A	粉末 二酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認	計数 目視	□	A	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認	計数 目視	・記載の適正化  ・記載の適正化     ・記載の適正化	
	B	粉末 二酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確定 Pu 含有率確定 Pu 含有量確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS 法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC 又は ENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 又は I DMS 法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		B	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	員数確認 番号確認 重量確定 Pu 含有率確定 Pu 含有量確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS 法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC 又は ENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 I DMS 法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		
□	C	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン	容器 1 個 1 グローブ ボックス	員数確認 番号確認 重量確定 Pu 含有率確定 Pu 含有量確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS 法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC、ENMC 又は SBAS 酸化還元法 天秤、電気炉 又は I DMS 法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS	□	C	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン	容器 1 個 1 グローブ ボックス	員数確認 番号確認 重量確定 Pu 含有率確定 Pu 含有量確定 U 含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS 法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC、ENMC 又は SBAS 酸化還元法 天秤、電気炉 I DMS 法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		
			ピン 1 本	員数確認 番号確認	計数 目視				ピン 1 本	員数確認 番号確認	計数 目視		
	D	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	□ の KMPB に同じ			D	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1 個	□ の KMPB に同じ			
	E	ピン 二酸化物	ピン 1 本	員数確認 番号確認	計数 目視		E	ピン 二酸化物	ピン 1 本	員数確認 番号確認	計数 目視		
	F	□ の KMPC に同じ (ピンを除く)						F	□ の KMPC に同じ (ピンを除く)				
	G	□ の KMPD に同じ						G	□ の KMPD に同じ				

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考				
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述		測定の内容			
				目的	方法・機器					目的	方法・機器			
□	L	粉末 二酸化物 固体 他の酸化物 液体 金属 硝酸塩	容器1個	□のKMPCと同じ		□	L	粉末 二酸化物 固体 他の酸化物 液体 金属 硝酸塩	容器1個	□のKMPCと同じ		・記載の適正化		
	M	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン 窒化物 固体 金属 合金	容器1個	□のKMPCと同じ			M	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン 窒化物 固体 金属 合金	容器1個	□のKMPCと同じ			・記載の適正化	
	N	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン 窒化物 固体 金属 合金	容器1個 又は ピン1本	□のKMPCと同じ			N	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 ピン 窒化物 固体 金属 合金	容器1個 又は ピン1本	□のKMPCと同じ			・記載の適正化	
			容器1個 梱包物1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定				WDAS、WCAS、 PSMC又はENMC	容器1個 梱包物1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定			計数 目視 非破壊測定
	R	粉末 二酸化物 固体 他の酸化物 化合物 液体 硝酸塩	□のKMPCと同じ		タンク1基		体積 Pu含有率確定 U含有率確定 同位体確定	目視 レベル計 IDMS法 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置	□のKMPCと同じ	タンク1基	体積 Pu含有率確定 U含有率確定 同位体確定		目視 レベル計 IDMS法 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置	・記載の適正化
			□のKMPCと同じ											
□	K	集合体 二酸化物	集合体1体	員数確認 番号確認	計数 目視	□	K	集合体 二酸化物	集合体1体	員数確認 番号確認	計数 目視			

注) KMP-C、D、F、G、L、M、N及びRで用いる測定方法のうち、非破壊測定(但し、ENMCを除く)は暫定措置として行う。  
酸化還元法はウラン酸化物に適用する。

注) KMP-C、D、F、G、L、M、N及びRで用いる測定方法のうち、非破壊測定(但し、ENMCを除く)は暫定措置として行う。  
酸化還元法はウラン酸化物に適用する。

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧		新		備考		
第Ⅲ-4-(2)表 プルトニウム燃料製造施設の各主要測定点における測定		第Ⅲ-4-(2)表 プルトニウム燃料製造施設の各主要測定点における測定				
MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容 目的	測定の内容 方法・機器	
[ ]	1	粉末 二酸化物	缶 1個 キャスター 1基 貯蔵容器 1基 ピン 1個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
		粉末 二酸化物	貯蔵容器 1基	Pu含有率確定 U含有率確定 同位体確定	IDMS法 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置	
	2	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視	
	3	粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 箱 1箱	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
		粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 箱 1箱	U含有率確定 同位体確定	酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置	
	4	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 固体 化合物 ピン	容器 1個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
ピン 1本			員数確認 番号確認	計数 目視		
5	固体 二酸化物 他の酸化物 窒化物 液体 硝酸塩	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS、WCA S、PSMC又はEN MC	・記載の適正化	
6	粉末 二酸化物 ペレット 二酸化物 (WDASの初期測定は除く)	容器 1個 同一仕様の 核燃料物質	核的損耗	計算	・記載の適正化	

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考	
MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述		測定の内容
				目的	方法・機器					目的	方法・機器
	A	粉末 二酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認	計数 目視		A	粉末 二酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認	計数 目視
	B	粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 キャニスター 1基	員数確認 番号確認 重量確定 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 IDMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		B	粉末 二酸化物 ペレット 他酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認 重量確定 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 IDMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS
	C	粉末 二酸化物	搬送容器 1個 缶 1個 1グループボックス	KMPBに同じ Pu含有量確定	非破壊測定 MAGB		C	粉末 二酸化物 他酸化物	搬送容器 1個 缶 1個 1グループボックス	KMPBに同じ Pu含有量確定	非破壊測定 MAGB
	D	粉末 二酸化物 ペレット 他酸化物	KMPCに同じ				D	粉末 二酸化物 ペレット 他酸化物	KMPCに同じ		
	E	ピン 二酸化物	ピン 1本	員数確認 番号確認	計数 目視		E	ピン 二酸化物	ピン 1本	員数確認 番号確認	計数 目視
	F	粉末 二酸化物 固体 他酸化物 液体 硝酸塩	一定でない	KMPBに同じ			F	粉末 二酸化物 固体 他酸化物 液体 硝酸塩	一定でない	KMPBに同じ	
	G	固体 二酸化物 他酸化物 窒化物	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS		G	固体 二酸化物 他酸化物 窒化物	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS
	H	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視		H	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視

・記載の適正化  
・記載の適正化

注) KMP-B、C及びDで用いる測定のうち、非破壊測定は暫定措置として行い、最終的なPu含有率確定方法としては、IDMS法又はENMCを適用する。U含有率確定は通常、IDMS法を適用し、酸化還元法はIDMS法の予備として適用する。

注) KMP-B、C及びDで用いる測定のうち、非破壊測定は暫定措置として行い、最終的なPu含有率確定方法としては、IDMS法又はENMCを適用する。U含有率確定は通常、IDMS法を適用し、酸化還元法はIDMS法の予備として適用する。

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧				新				備考				
第Ⅲ-4-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域に関する各主要測定点における測定				第Ⅲ-4-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域に関する各主要測定点における測定								
特定MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		特定MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		
				目的	方法・機器					目的	方法・機器	
	1	粉末 二酸化物	缶 1個 キャニスター 1基 貯蔵容器 1基 ビン 1個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤		1	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基 ビン 1個	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
		粉末 二酸化物	貯蔵容器 1基	Pu含有率確定 U含有率確定 同位体確定	IDMS法 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置			Pu含有率確定 U含有率確定 同位体確定	IDMS法 質量分析装置 酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置	・記載の適正化		
	6	粉末 二酸化物	容器 1個	核的損耗	計算		6	粉末 二酸化物	容器 1個	核的損耗	計算	
	7	粉末 二酸化物 ペレット	容器 1個	員数確認 番号確認 重量確認 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 IDMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		7	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	容器 1個	員数確認 番号確認 重量確認 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 IDMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS	・記載の適正化
	3	粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 箱 1箱	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤		3	粉末 二酸化物 ペレット、他の酸化物	缶 1個 箱 1箱	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
		粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 箱 1箱	U含有率確定 同位体確定	酸化還元法 天秤、電気炉 又は IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置			U含有率確定 同位体確定	酸化還元法 天秤、電気炉 IDMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置	・記載の適正化		
	4	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 固体 化合物 ピン	容器 1個 ピン 1本	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤		4	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物 固体 化合物 ピン	容器 1個 ピン 1本	員数確認 番号確認 重量確認	計数 目視 秤量 天秤	・記載の適正化
		固体 二酸化物 他の酸化物 窒化物 液体 硝酸塩	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS、WCAS、 PSMC又はENMC			員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS、WCAS、 PSMC又はENMC	・記載の適正化		
	6	粉末 二酸化物 ペレット 二酸化物 (WDASの初期測定は除く)	容器 1個 同一仕様の核燃料物質	核的損耗	計算		6	粉末 二酸化物 ペレット 二酸化物 (WDASの初期測定は除く)	容器 1個 同一仕様の核燃料物質	核的損耗	計算	・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧						新						備考
特定 MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		特定 MBA の 符号	KMP の 符号	物理的・化学的 形状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		
				目的	方法・機器					目的	方法・機器	
	7	特定MBA [ ] のKMP7と同じ					7	特定MBA [ ] のKMP7と同じ				・記載の適正化
	8	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視		8	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視	
	2	特定MBA [ ] のKMP2と同じ					2	特定MBA [ ] のKMP8と同じ				
	8	特定MBA [ ] のKMP8と同じ					8	特定MBA [ ] のKMP8と同じ				

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考			
特定MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述	測定の内容		特定MBAの符号	KMPの符号	物理的・化学的性状 (主要なもの)	単位体の記述		測定の内容		
				目的	方法・機器					目的	方法・機器		
	A	粉末 二酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認	計数 目視		A	粉末 二酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認	計数 目視	・記載の適正化	
	B	粉末 二酸化物 ペレット	缶 1個 キャスター 1基	員数確認 番号確認 重量確定 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 又は I DMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		B	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	缶 1個 貯蔵容器 1基	員数確認 番号確認 重量確定 Pu含有率確定 Pu含有量確定 U含有率確定 同位体確定	計数 目視 秤量 天秤 I DMS法 質量分析装置 非破壊測定 ENMC 非破壊測定 PSMC又はENMC 酸化還元法 天秤、電気炉 I DMS法 質量分析装置 質量分析法 質量分析装置 アルファ線スペクトロメトリ法 アルファ線波高分析装置 非破壊測定 HRGS		
	C	粉末 二酸化物	搬送容器 1個	KMPBに同じ			C	粉末 二酸化物 他の酸化物	搬送容器 1個	KMPBに同じ			・記載の適正化
			缶 1個	Pu含有量確定	非破壊測定 MAGB				缶 1個	Pu含有量確定	非破壊測定 MAGB		
			1グループボックス	Pu含有量確定	非破壊測定 SBAS				1グループボックス	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 SBAS		
	D	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	KMPCに同じ				D	粉末 二酸化物 ペレット 他の酸化物	KMPCに同じ				
	E	ピン 二酸化物	ピン 1本	員数確認 番号確認	計数 目視		E	ピン 二酸化物	ピン 1本	員数確認 番号確認	計数 目視		
	F	粉末 二酸化物 固体 他の酸化物 液体 硝酸塩	一定でない	KMPBに同じ			F	粉末 二酸化物 固体 他の酸化物 液体 硝酸塩	一定でない	KMPBに同じ			
	G	固体 二酸化物 他の酸化物 窒化物	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS		G	固体 二酸化物 他の酸化物 窒化物	容器 1個 梱包物 1個	員数確認 番号確認 Pu含有量確定	計数 目視 非破壊測定 WDAS又はWCAS		
	H	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視		H	集合体 二酸化物	集合体 1体	員数確認 番号確認	計数 目視		

注) KMP-B、C及びDで用いる測定のうち、非破壊測定は暫定措置として行い、最終的なPu含有率確定方法としては、I DMS法又はENMCを適用する。U含有率確定は通常、I DMS法を適用し、酸化還元法はI DMS法の予備として適用する。

注) KMP-B、C及びDで用いる測定のうち、非破壊測定は暫定措置として行い、最終的なPu含有率確定方法としては、I DMS法又はENMCを適用する。U含有率確定は通常、I DMS法を適用し、酸化還元法はI DMS法の予備として適用する。

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
第Ⅲ-5-(1)表 プルトニウム燃料施設における測定機器の校正の頻度及び方法					第Ⅲ-5-(1)表 プルトニウム燃料施設における測定機器の校正の頻度及び方法					
MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	
□ 及び □	KMPによらず共通	アルファ計数装置	測定の都度	標準試料による校正	□ 及び □	KMPによらず共通	アルファ計数装置	測定の都度	標準試料による校正	
		非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正			非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正	
		天秤	秤量の都度	零点調整及び標準分銅による校正			天秤	秤量の都度	零点調整及び標準分銅による校正	
		質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正			質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正	
		タンク	核燃料物質装荷前	水による校正			タンク	核燃料物質装荷前	水による校正	
		アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正			アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正	
(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所及びJCSS等の検定書付きのものとする。					(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所、JCSS等の検定書付きのものとする。					・記載の適正化



核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考
第Ⅲ-5-(2)表 プルトニウム燃料製造施設における測定機器の校正の頻度及び方法					第Ⅲ-5-(2)表 プルトニウム燃料製造施設における測定機器の校正の頻度及び方法					
MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	
□	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正	□	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正	
		天秤	秤量の都度	零点調整による校正			天秤	秤量の都度	零点調整による校正	
			1/月	標準分銅による校正				1/月	標準分銅による校正	
		質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正			質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正	
		アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正			アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正	
(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所及びJCSS等の検定書付きのものとする。					(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所、JCSS等の検定書付きのものとする。					・記載の適正化

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧					新					備考																																		
第Ⅲ-5-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域における測定機器の校正の頻度及び方法					第Ⅲ-5-(3)表 プルトニウム燃料製造施設の特定核燃料物質計量管理区域における測定機器の校正の頻度及び方法																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>特定MBAの符号</th> <th>KMPの符号</th> <th>測定方法・機器</th> <th>校正頻度</th> <th>校正方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div>                     及び                     <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div> </td> <td rowspan="4">KMPによらず共通</td> <td>非破壊測定装置</td> <td>測定の都度</td> <td>標準試料による校正</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天 秤</td> <td>秤量の都度</td> <td>零点調整による校正</td> </tr> <tr> <td>1/月</td> <td>標準分銅による校正</td> </tr> <tr> <td>質量分析装置</td> <td>1/月</td> <td>一次標準試料による校正</td> </tr> <tr> <td>アルファ線波高分析装置</td> <td>1/月</td> <td>一次標準試料による校正</td> </tr> </tbody> </table>	特定MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div> 及び <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div>	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度		標準試料による校正	天 秤	秤量の都度	零点調整による校正	1/月	標準分銅による校正	質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正	アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特定MBAの符号</th> <th>KMPの符号</th> <th>測定方法・機器</th> <th>校正頻度</th> <th>校正方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div>                     及び                     <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div> </td> <td rowspan="4">KMPによらず共通</td> <td>非破壊測定装置</td> <td>測定の都度</td> <td>標準試料による校正</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天 秤</td> <td>秤量の都度</td> <td>零点調整による校正</td> </tr> <tr> <td>1/月</td> <td>標準分銅による校正</td> </tr> <tr> <td>質量分析装置</td> <td>1/月</td> <td>一次標準試料による校正</td> </tr> <tr> <td>アルファ線波高分析装置</td> <td>1/月</td> <td>一次標準試料による校正</td> </tr> </tbody> </table>	特定MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div> 及び <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div>	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正	天 秤	秤量の都度	零点調整による校正	1/月	標準分銅による校正	質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正	アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正
特定MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法																																								
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div> 及び <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div>	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正																																								
		天 秤	秤量の都度	零点調整による校正																																								
			1/月	標準分銅による校正																																								
		質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正																																								
アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正																																										
特定MBAの符号	KMPの符号	測定方法・機器	校正頻度	校正方法																																								
<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 2px;"></div> 及び <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; margin-top: 2px;"></div>	KMPによらず共通	非破壊測定装置	測定の都度	標準試料による校正																																								
		天 秤	秤量の都度	零点調整による校正																																								
			1/月	標準分銅による校正																																								
		質量分析装置	1/月	一次標準試料による校正																																								
アルファ線波高分析装置	1/月	一次標準試料による校正																																										
(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所及びJCSS等の検定書付きのものとする。					(注) 「一次標準試料」とは、輸入品の場合はNBS、NBL等の標準試料とし、国内品の場合は日本原子力研究所、JCSS等の検定書付きのものとする。																																							
第Ⅲ-6-(1)表~第Ⅲ-9表 (省略)					第Ⅲ-6-(1)表~第Ⅲ-9表 (変更なし)																																							
第4編 研究開発施設及び高レベル放射性物質研究施設における国際規制物資の計量管理					第4編 研究開発施設及び高レベル放射性物質研究施設における国際規制物資の計量管理																																							
第1章第1条~第11章第48条 (省略)					第1章第1条~第11章第48条 (変更なし)																																							
(関連図表) 第Ⅳ-1図~第Ⅳ-8表 (省略)					(関連図表) 第Ⅳ-1図~第Ⅳ-8表 (変更なし)																																							

核燃料サイクル工学研究所計量管理規定新旧対照表

該当箇所を\_\_\_\_\_で示す。

旧	新	備考
<p>1 この規定は、平成20年10月 1日から施行する。 附則(20規定第47号)</p> <p>1 この規定は、平成22年 3月23日から施行する。 附則(21サ(規則)第34号)</p> <p>1 この規定は、平成23年 5月 1日から施行する。 附則(23サ(規則)第16号)</p> <p>1 この規定は、平成24年 5月15日から施行する。 附則(24サ(規則)第22号)</p> <p>1 この規定は、平成24年10月 1日から施行する。 附則(24サ(規則)第41号)</p> <p>1 この規定は、平成26年 4月 1日から施行する。 附則(25サ(規則)第80号)</p> <p>1 この規定は、平成27年 4月 1日から施行する。 附則(26サ(規則)第63号)</p> <p>1 この規定は、平成28年 4月 1日から施行する。 附則(27サ(規則)第19号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 1月 1日から施行する。 附則(29サ(規則)第 9号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 4月 1日から施行する。 附則(29サ(規則)第43号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 7月 1日から施行する。 附則(30サ(規則)第14号)</p> <p>1 この規定は、平成31年 3月 7日から施行する。 附則(30サ(規則)第53号)</p> <p>1 この規定は、令和 3年 4月 1日から施行する。 附則(令02サ(規則)第33号)</p> <p>1 この規定は、令和 4年 1月 1日から施行する。 附則(令03サ(規則)第27号)</p> <p>1 この規定は、令和 4年 6月 8日から施行する。 附則(令04サ(規則)第 5号)</p> <p>1 この規定は、令和 5年 3月11日から施行する。 ただし、プルトニウム燃料技術開発センターの組織改正については、令和 5年 4月 1日 から施行する。 附則(令04サ(規則)第28号)</p>	<p>1 この規定は、平成20年10月 1日から施行する。 附則(20規定第47号)</p> <p>1 この規定は、平成22年 3月23日から施行する。 附則(21サ(規則)第34号)</p> <p>1 この規定は、平成23年 5月 1日から施行する。 附則(23サ(規則)第16号)</p> <p>1 この規定は、平成24年 5月15日から施行する。 附則(24サ(規則)第22号)</p> <p>1 この規定は、平成24年10月 1日から施行する。 附則(24サ(規則)第41号)</p> <p>1 この規定は、平成26年 4月 1日から施行する。 附則(25サ(規則)第80号)</p> <p>1 この規定は、平成27年 4月 1日から施行する。 附則(26サ(規則)第63号)</p> <p>1 この規定は、平成28年 4月 1日から施行する。 附則(27サ(規則)第19号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 1月 1日から施行する。 附則(29サ(規則)第 9号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 4月 1日から施行する。 附則(29サ(規則)第43号)</p> <p>1 この規定は、平成30年 7月 1日から施行する。 附則(30サ(規則)第14号)</p> <p>1 この規定は、平成31年 3月 7日から施行する。 附則(30サ(規則)第53号)</p> <p>1 この規定は、令和 3年 4月 1日から施行する。 附則(令02サ(規則)第33号)</p> <p>1 この規定は、令和 4年 1月 1日から施行する。 附則(令03サ(規則)第27号)</p> <p>1 この規定は、令和 4年 6月 8日から施行する。 附則(令04サ(規則)第 5号)</p> <p>1 この規定は、令和 5年 3月11日から施行する。 ただし、プルトニウム燃料技術開発センターの組織改正については、令和 5年 4月 1日 から施行する。 附則(令04サ(規則)第28号)</p> <p>1 この規定は、令和 年 月 日から施行する。 附則(令  サ(規則)第 号)</p>	<p>・この規定は、原子力規制委員 会の認可を受けた後、所長が 別に定める日から施行するも のとする。</p>